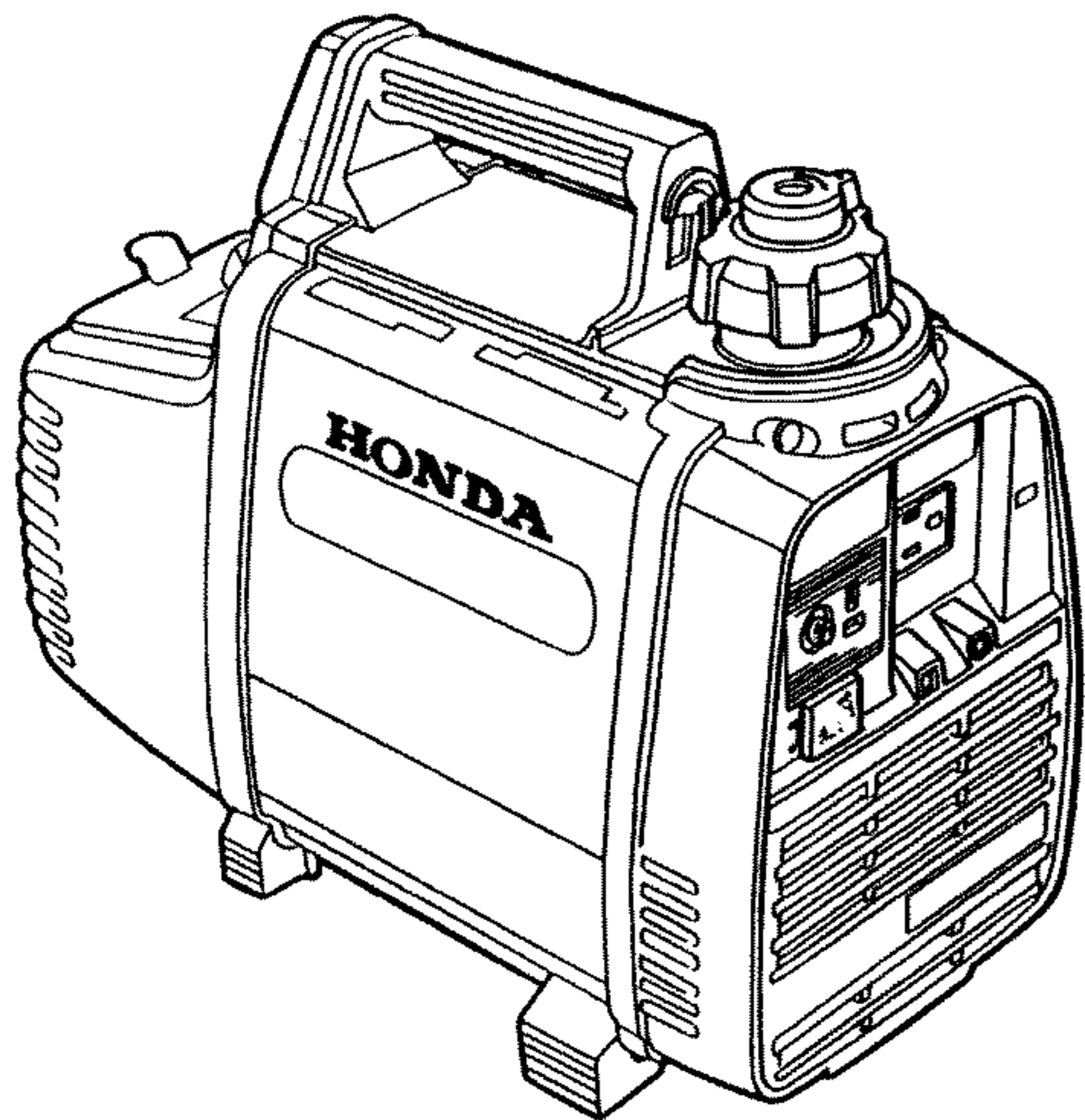


# ホンダ<sup>®</sup>発電機

# hippo<sup>®</sup> EX 300

## 取扱説明書



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

**HONDA**  
本田技研工業株式会社  
東京都港区南青山2-1-1

30ZC3709  
00X30-ZC3-7090

1

(SB) (M) (HC) 11009503

## お買いあげありがとうございました。

お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、お買いあげいただいた販売店にお気軽にお申しつけください。

より快適に、より安全にお使いいただくために、必要な事項を本書に記載しましたので必ずお読みください。

(わからないことがありましたら、お買いあげ販売店にお問い合わせください。)

なお、この取扱説明書は、仕様変更などにより、イラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。ご了承ください。

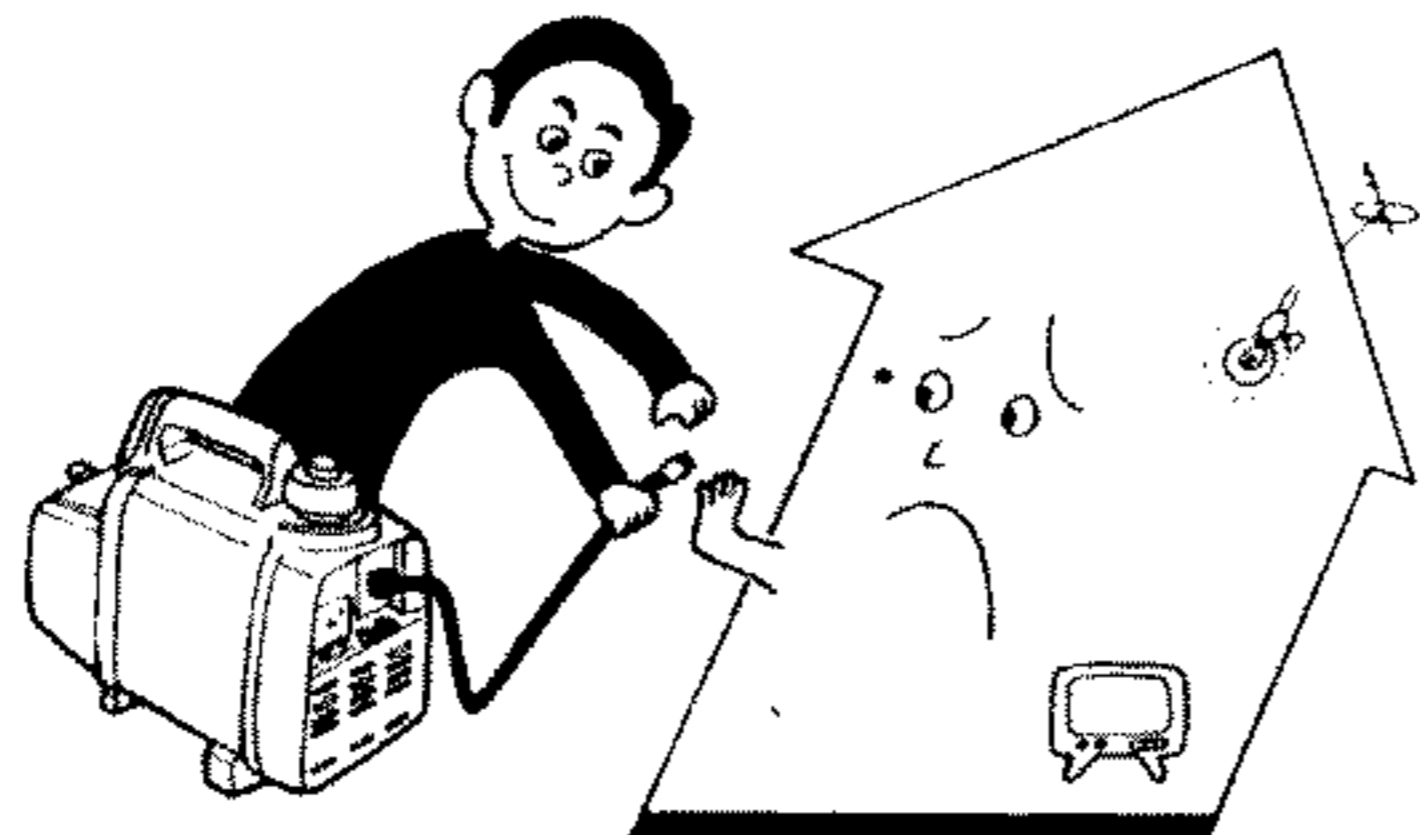
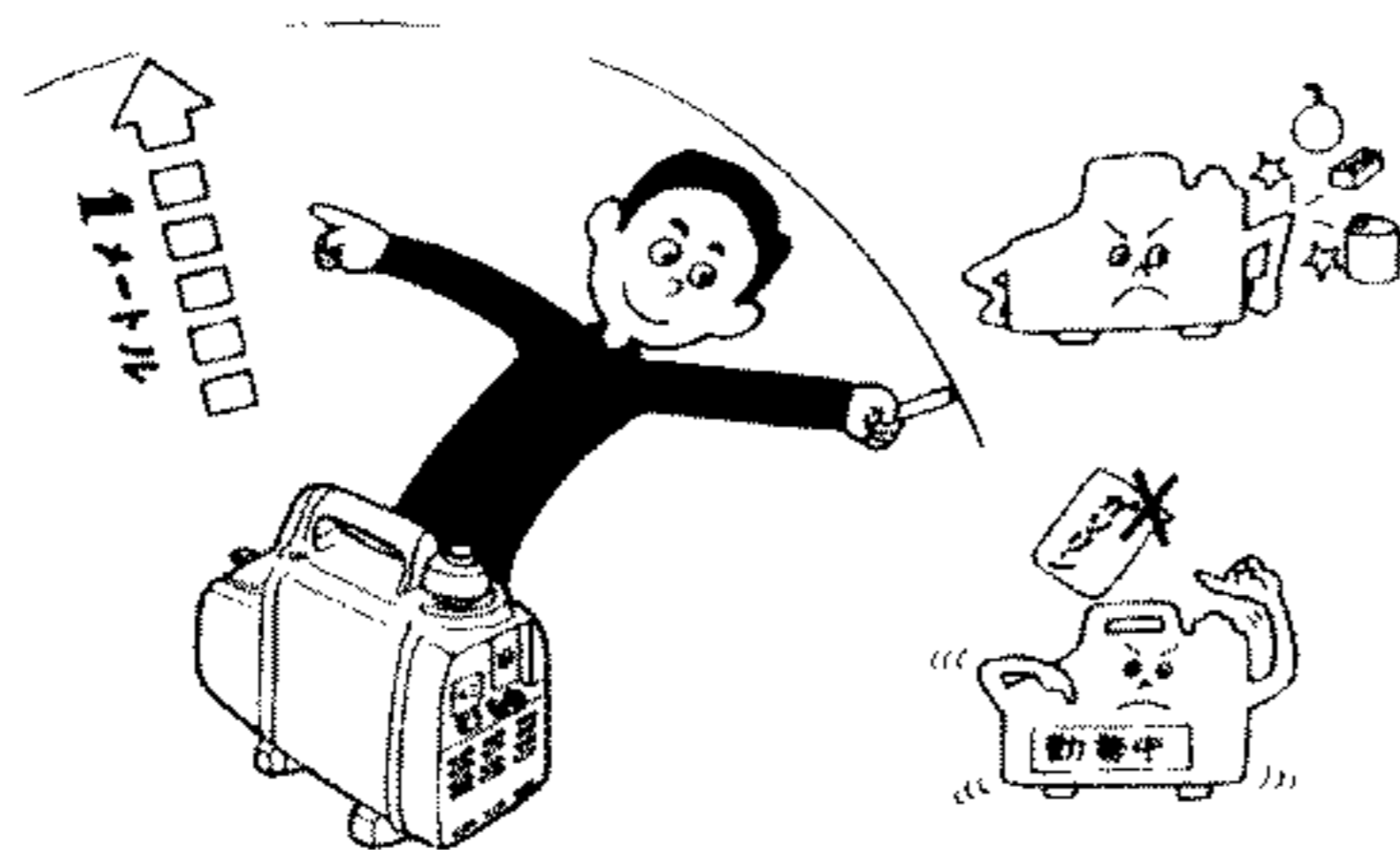
2



リサイクルペーパーを使用しております。

# 1 安全にお使いいただくために

- ★使用中は建物およびその他の設備から1m以上離す。
- ★周囲をかこったり、箱をかぶせたりしない。
- ★発電機のまわりには、燃えやすいもの(わらくず、紙くず、木くずなど)を近づけない。危険物(油脂類、セルロイド、火薬など)は置かない。
- ★燃料補給時は、エンジンを必ず止める。
  - 燃料補給時はタバコの火やたき火など、火気厳禁のこと。
  - 燃料はこぼれないように入れる。
  - こぼれた燃料は完全に拭き取り、かわかしてから始動する。
- ★燃料はタンク注入口の赤線(LEVEL)以上入れない。
- ★雨の中では使用しない。
  - 雨の中で使用すると発電機、電気器具が故障することがあります。
  - ぬれた手でコンセントなどを操作すると感電することがあり、危険です。
- ★発電機の水洗いはしないこと。発電機に水をかけると発電機が故障することがあります。
- ★電力会社からの電気配線には絶対に接続しない。
  - 使用器具や発電機を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因となります。
- ★使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、軟かい所では使用しない。
  - 発電機の破損、故障の原因となります。
- ★カバー類を外したまま使用しない。
  - 手足をはさんだり思わぬ災害をまねきます。



# これだけはぜひ守りましょう

- ★使用中は発電機を傾斜させたり、移動をしない。
  - 燃料の漏れや振動による自然移動、また転倒の危険があります。
- ★屋内や車内では使用しない。
  - 建物や遮へい物などで風通しが悪い場所、また屋内などで排気ガスがこもる場所では使用しない。
  - 室内、倉庫、トンネル、井戸、船倉、タンク内などや換気の悪い場所では使用しない。
  - 換気の悪い場所は、火災及び酸素不足と有害な一酸化炭素がたまってガス中毒の危険があります。
- ★改造は絶対にしないでください。
  - 故障や火災の原因となるおそれがあります。
- ★排気ガス中には、有害な成分が含まれています。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や家畜などにも十分ご注意ください。
- ★排気口は、風通しのよい広い場所にむける。
- ★車輛等で運搬するときは、必ず「運搬する場合には」(32頁)をお読みください。
- ★発電機の使用に際しては、法律・規制がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法、などにしたがってください。
- ★使用中に音、におい、振動などで異常を感じたら直ちにエンジンを停止し、お買いあげ販売店へお申しつけください。

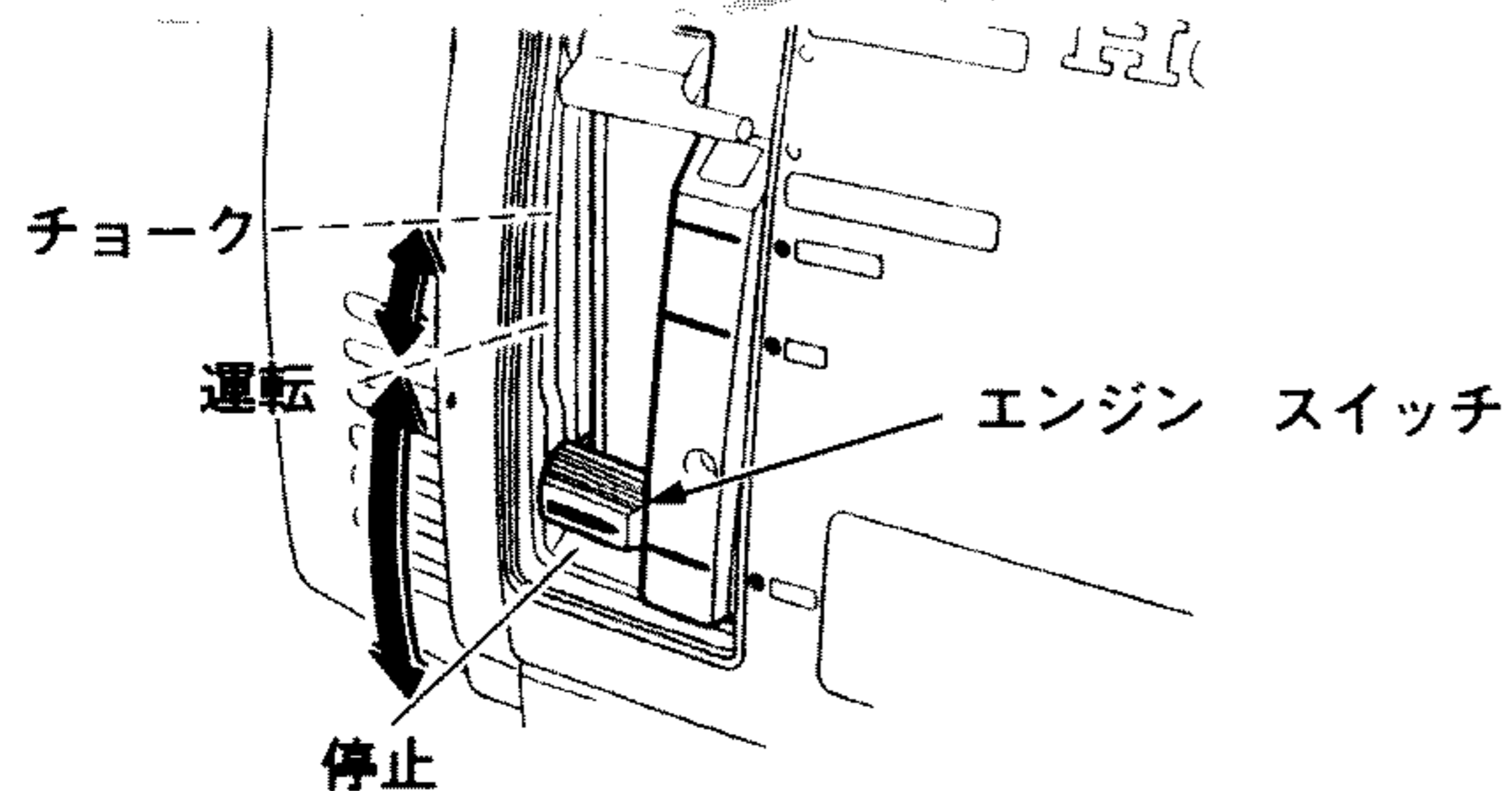


作業点検・定期点検もお忘れなく

## 2 各部の取り扱いをおぼえましょう

### エンジン スイッチ

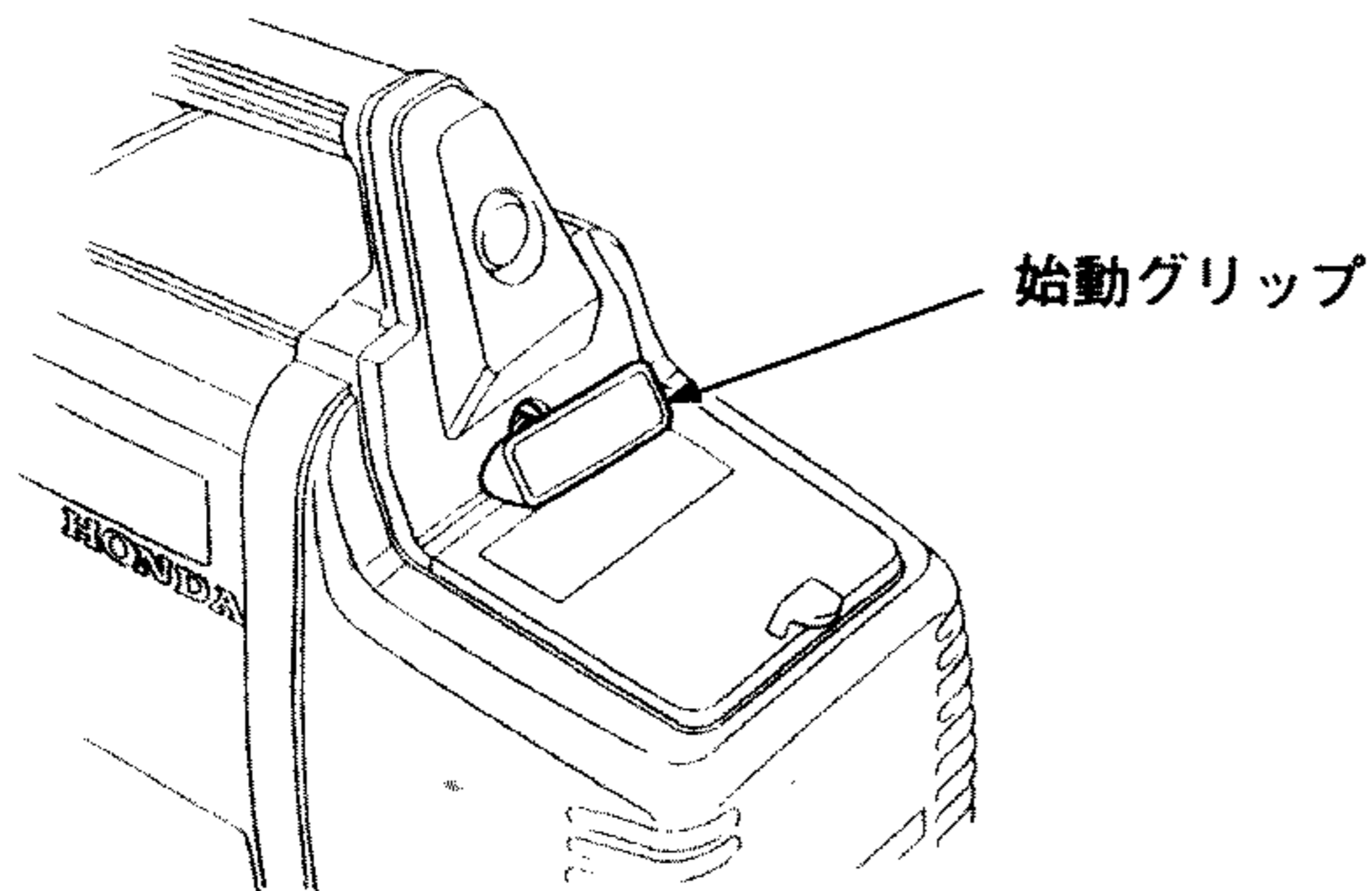
発電機を始動、停止させる時に操作します。



### 始動グリップ

エンジンを始動する装置です。

始動グリップを引き重くなる所をさがし勢いよく引きます。



### 注意

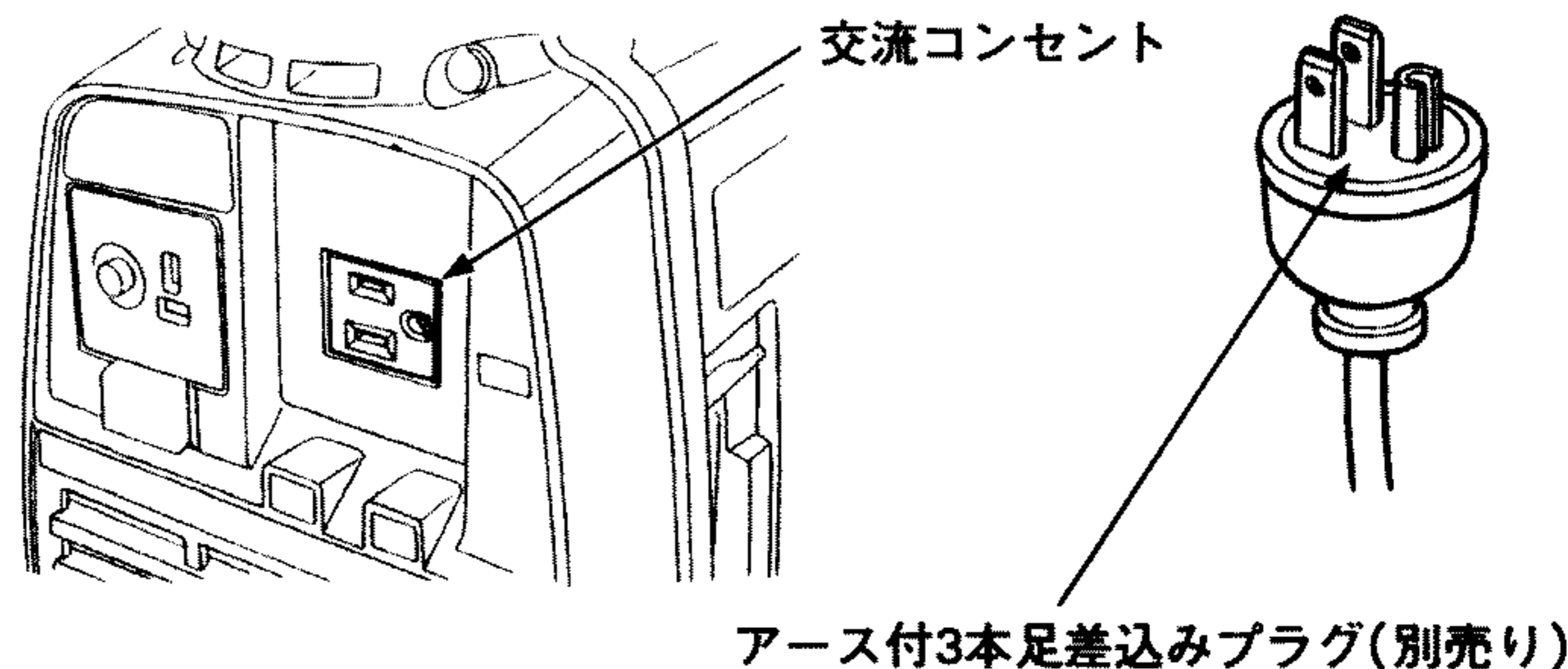
- グリップを引いたまま手を放さないでください。始動装置を破損することがあります。
- 運転中は始動グリップに手を触れないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

### 交流コンセント

交流電気を取出すところです。

コンセントへプラグを差込む場合は、接触不良、抜けのないように確実に行ってください。

- 差込みプラグは、図のような別売りアース付3本足差込みプラグを使用してください。

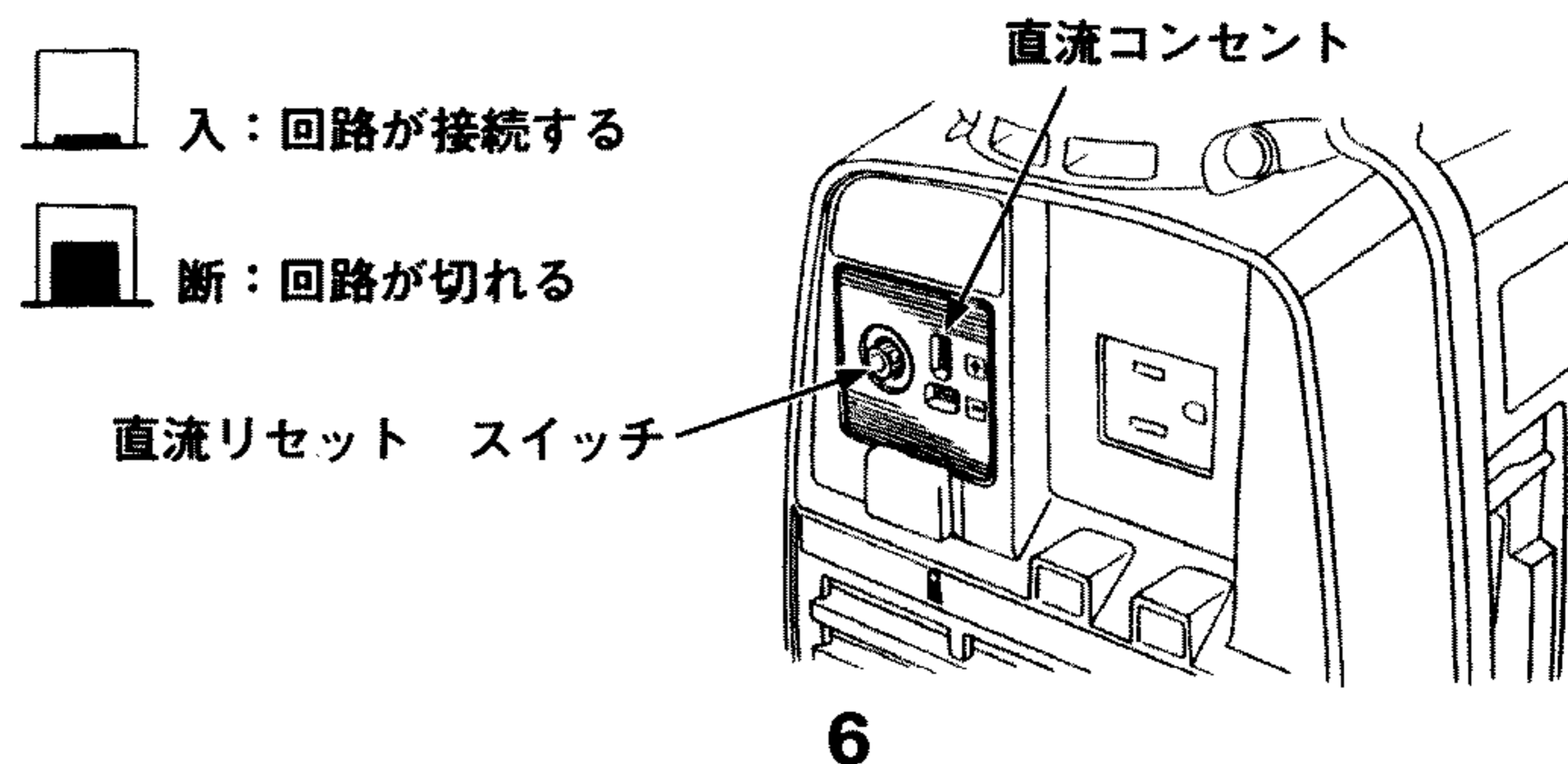


### 直流リセット スイッチ / 直流コンセント

このリセット スイッチは直流回路を保護します。

バッテリー充電中に異常があった場合や電気の取出し過ぎの時にスイッチが切れる装置です。

リセット スイッチが切れた場合は、すぐ“入”にしないで接続配線に異常がないか、また電気の取出し過ぎでないか確認してからスイッチを“入”にします。

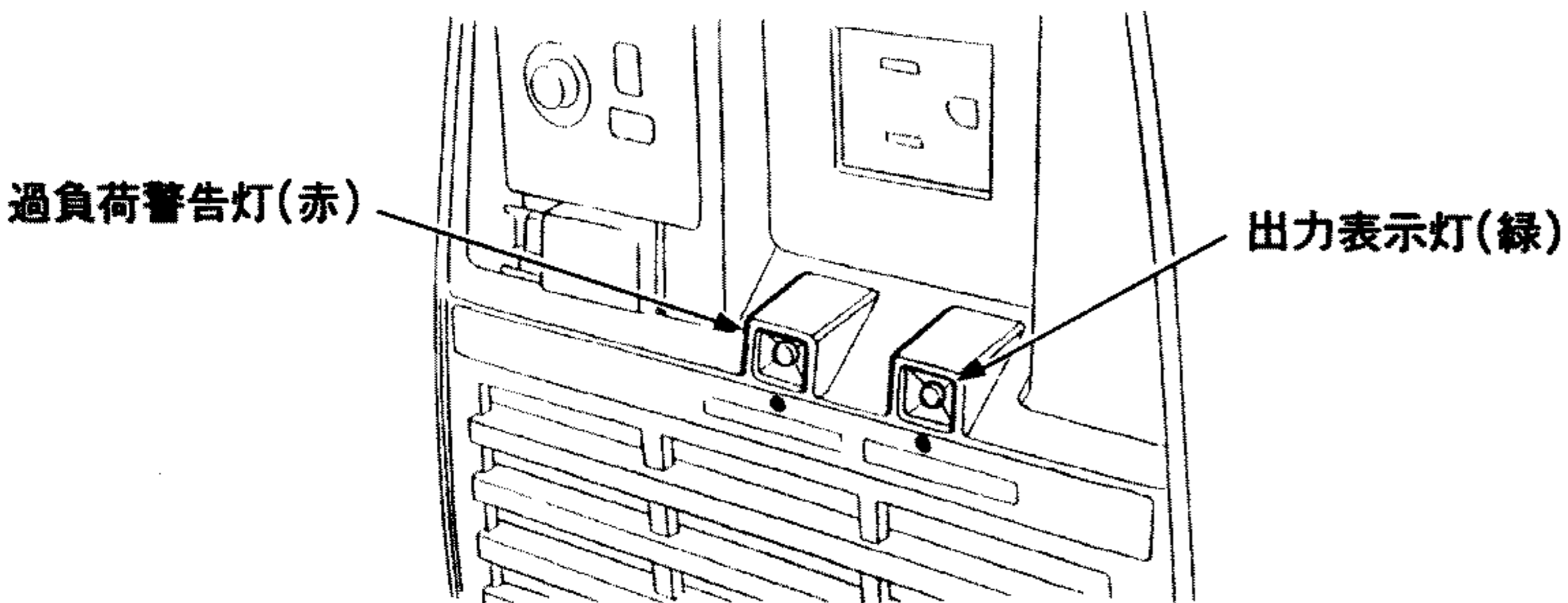


## 過負荷警告灯／出力表示灯

交流の発電状態が確認できます。

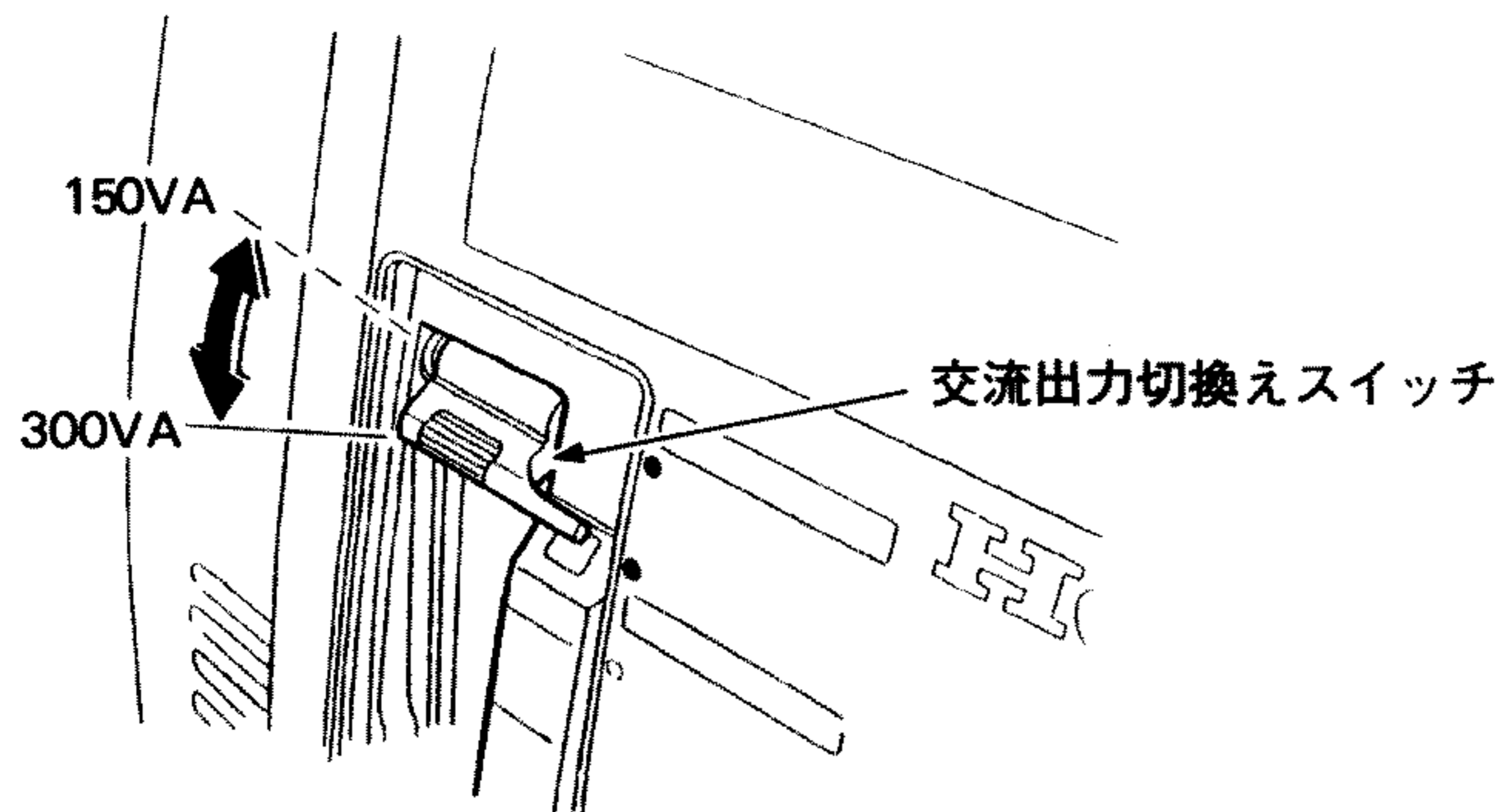
緑ランプ点灯……発電正常です。

赤ランプ点灯……過負荷です。



## 交流出力切換えスイッチ

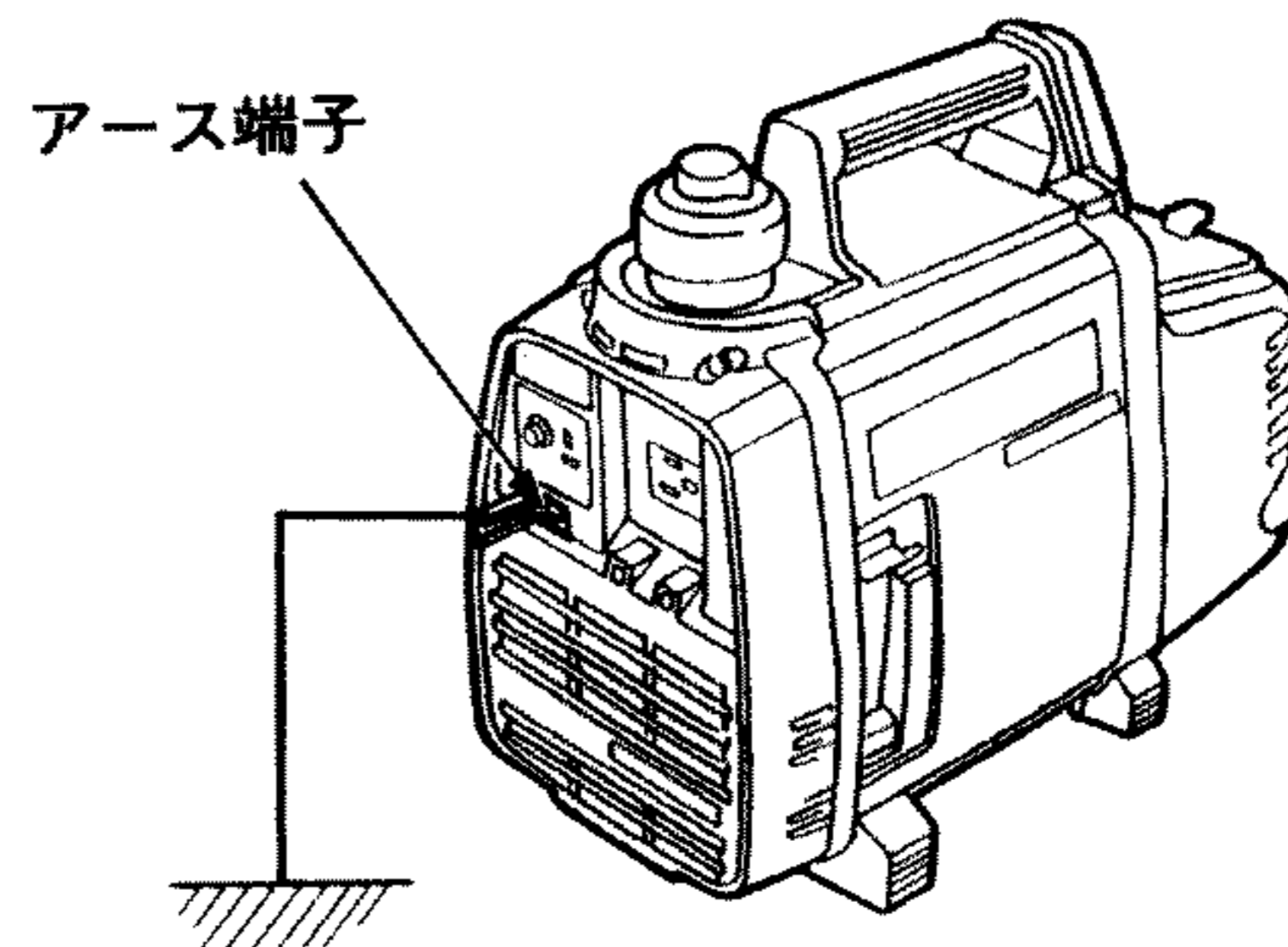
使用する、電気器具により2段階に切換えできます。



## アース端子

発電機を地面にアースする端子です。

電気器具をアースした時は、発電機も必ずアースしてください。



## 外部タンク燃料コック レバー (JHL, NHLタイプのみ)

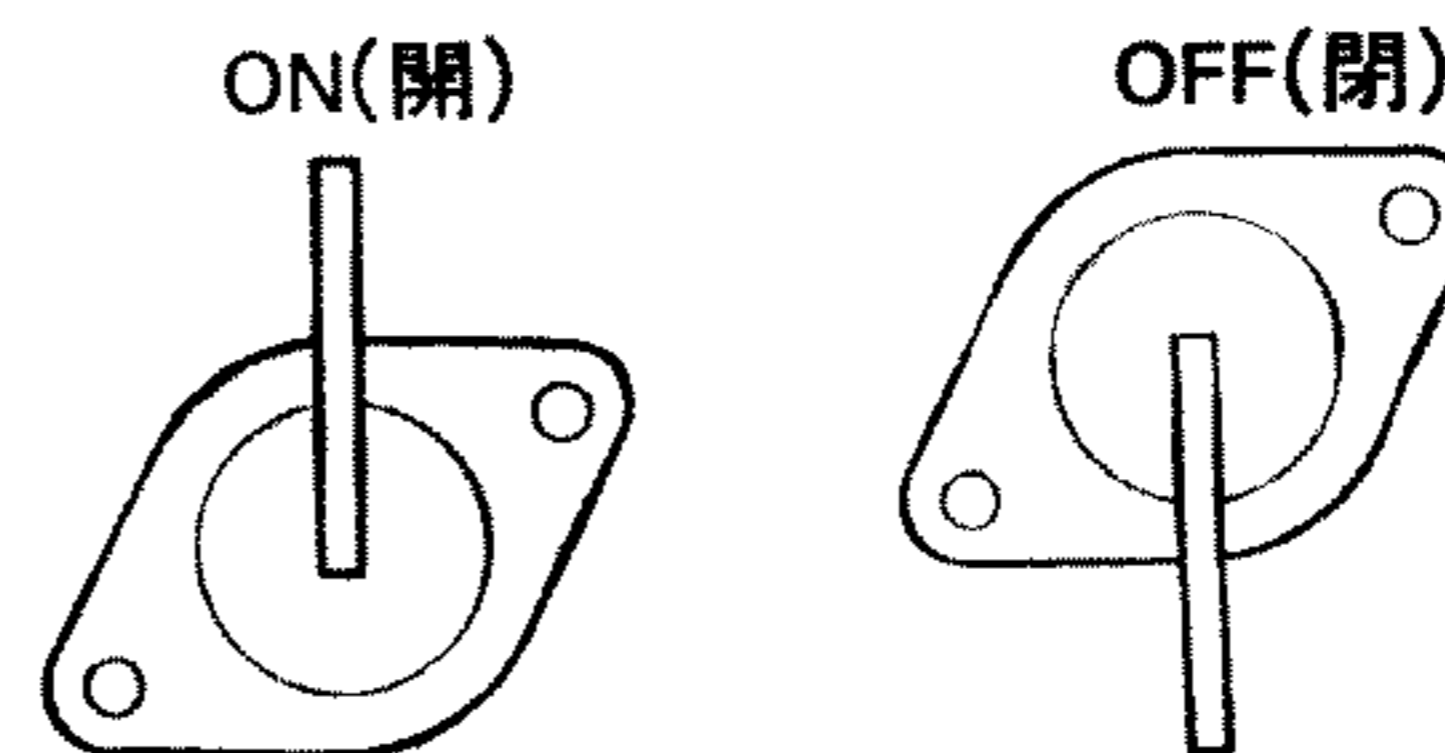
外部タンクの燃料通路を開閉するときに操作します。

内部タンクと外部タンクは切換えて使用します。

片方の燃料タンクが空になったら(エンジンが止まったら)、燃料コック レバーを切換えて使用してください。

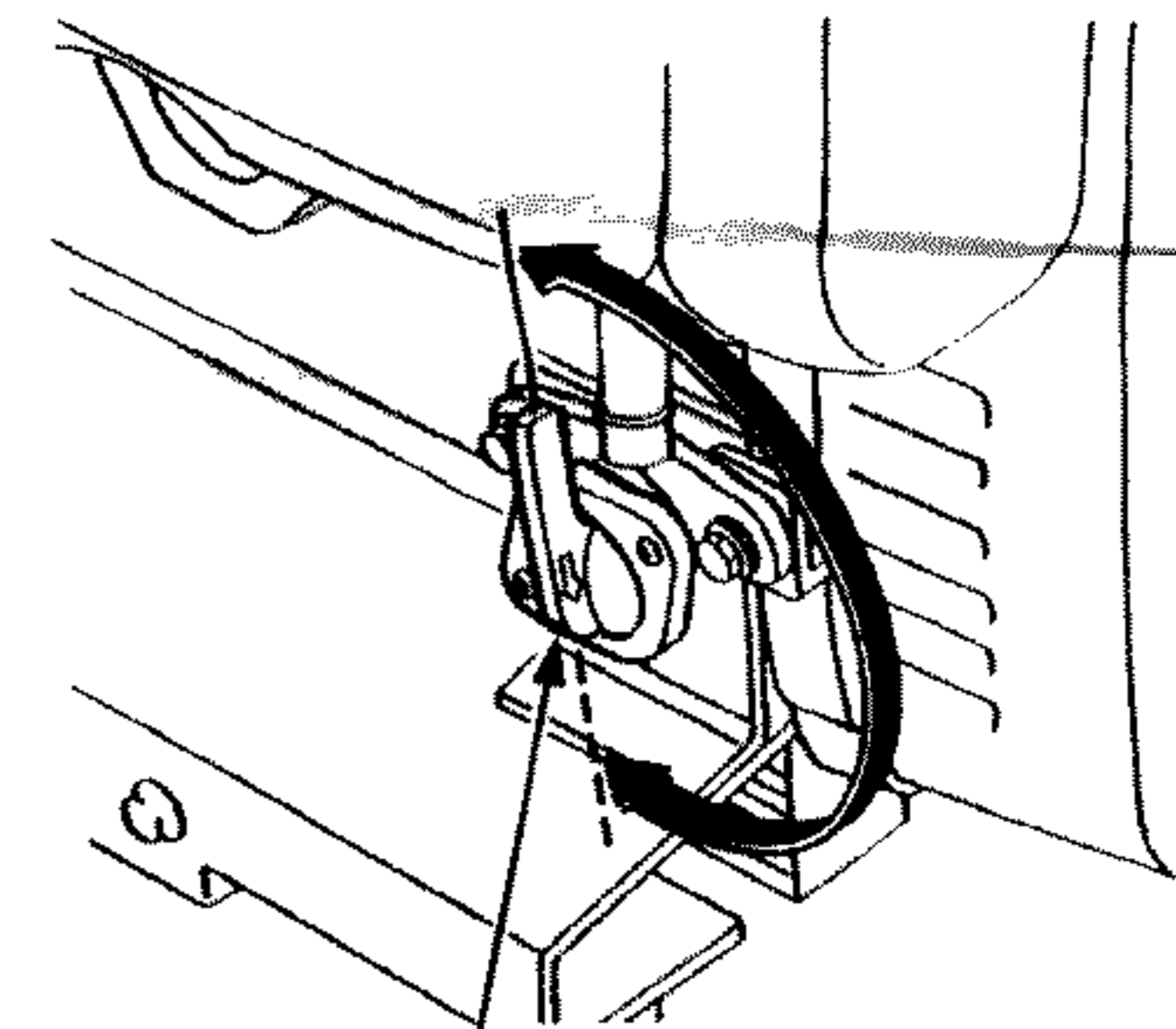
“ON(開)”…外部タンクの燃料を使用するときはこの位置にします。

“OFF(閉)”…外部タンクの燃料は使用できません。



外部タンクの燃料  
が使用できます。

内部タンクの燃料  
が使用できます。



外部タンク燃料コック レバー

### 注意

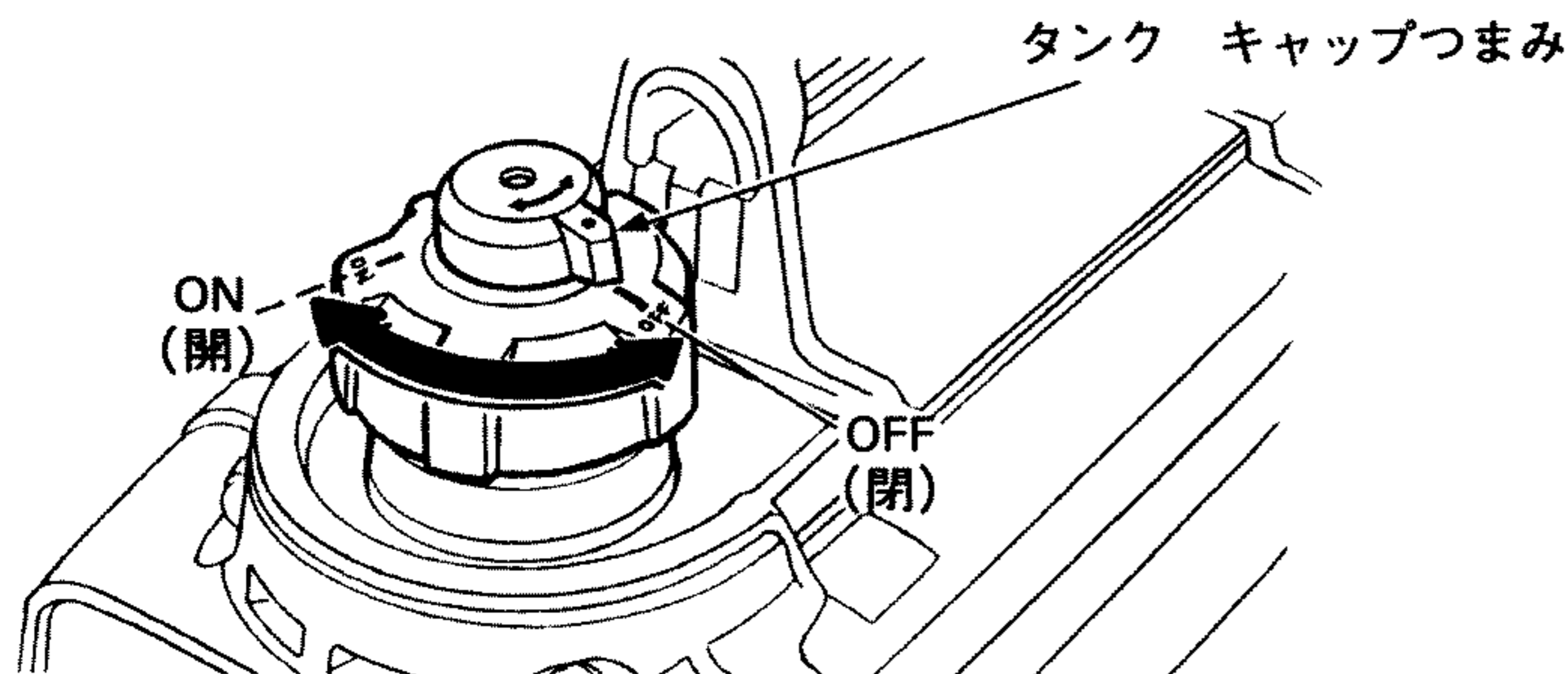
- 停止、運搬、保管するときは、外部タンク燃料コック レバーを必ず“OFF(閉)”にしてください。

## タンク キャップつまみ

タンク キャップつまみは、燃料タンク内と外気との通気穴の開閉装置です。

“ON(開)”・・・発電機を使用する時

“OFF(閉)”・・・停止時、運搬、保管時



### 注意

- (JHL, NHLタイプ)  
外部タンク付は、両方のタンク キャップつまみを同様に操作してください。
- 操作は確実に“ON(開)”、“OFF(閉)”にしてください。

## ③ 運転をする前に点検しましょう

★点検は、エンジンを始動する前に平坦な場所で発電機を水平に行ってください。  
この発電機は2サイクル エンジンを使用しています。必ず混合燃料(ガソリン：2サイクル オイル)を使用してください。

(JH, NHタイプ)

### 混合比 100 : 1

(ガソリン) (2サイクル オイル)

### 混合燃料の点検

#### 点検

燃料タンク キャップを外し、注入口のレベル(給油限界位置)まで混合燃料があるか点検します。少ない場合は補給してください。

#### 混合燃料のつくり方

混合比は100:1の割合です。同梱の計量カップ(20 cc用)を用いて下記の表を目安として、ガソリンと2サイクル オイルを別容器でよく混合して混合比100:1の燃料にしてください。

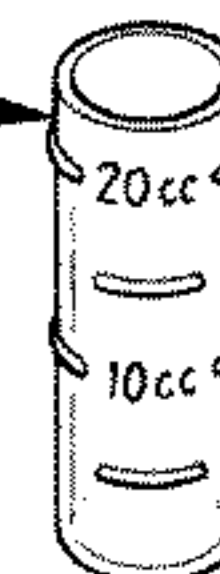
ガソリン(100)	2サイクル オイル(1)
500 cc	計量カップ 1/4杯(5 cc)
750 cc	3/8杯(7.5 cc)
1000 cc (1 ℓ)	1/2杯(10 cc)
1500 cc (1.5 ℓ)	3/4杯(15 cc)
2000 cc (2 ℓ)	1杯(20 cc)

#### 補給

- 燃料給油キャップを外し、注入口のレベル(給油限界位置)まで補給してください。

タンク容量： 0.81 ℓ

オイル計量用カップ



使用燃料：無鉛(レギュラ ガソリン)

混合用オイル：ホンダ ウルトラ2スーパー エクストラ

混合比100(ガソリン)：1(2サイクル オイル)

- 補給後、キャップを確実に締付けてください。

#### 注意

- 火気厳禁
- 必ずエンジンを止めて補給してください。
- 燃料は注入口のレベル(給油限界位置)以上に入れないでください。  
レベルより上まで入れると燃料がもれることがあります。
- 燃料はこぼさないでください。もし燃料がこぼれたらきれいに拭き、乾かしてから始動してください。
- キャップの締付けが不完全ですと燃料がもれます。確実に締付けてください。

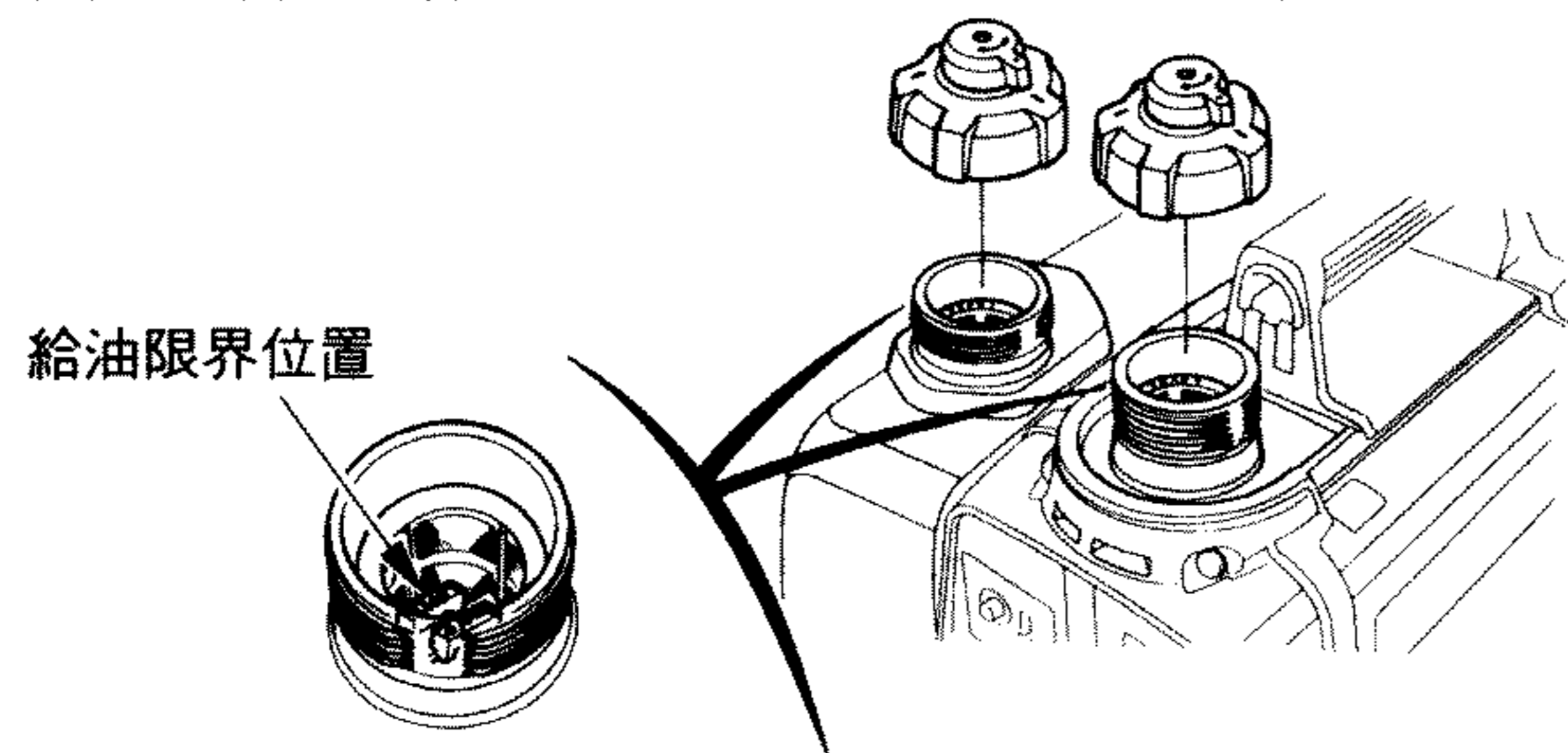


## (JHL, NHLタイプ) 混合比 100 : 1

### 混合燃料の点検

外部タンク、本機側の燃料タンク キャップを外し、注入口のレベル(給油限界位置)まで混合燃料があるか点検します。少ない場合は補給してください。

(ガソリン) (2サイクル オイル)



混合燃料のつくり方は10頁を参照してください。

### 補給

●燃料給油キャップを外し、注入口のレベル(給油限界位置)まで補給してください。

タンク容量 本機側: 0.81 ℓ

外部タンク: 1.50 ℓ

使用燃料: 無鉛(レギュラ ガソリン)

混合用オイル: ホンダ ウルトラ2スーパー エクストラ

混合比100(ガソリン): 1(2サイクル オイル)

●補給後、キャップを確実に締付けてください。

### 注意

- 火気厳禁
- 必ずエンジンを止めて補給してください。
- 燃料は注入口のレベル(給油限界位置)以上に入れないでください。レベルより上まで入れると燃料がもれることがあります。
- 燃料はこぼさないでください。もし燃料がこぼれたらきれいに拭き、乾かしてから始動してください。
- キャップの締付けが不完全ですと燃料がもれます。確実に締付けてください。

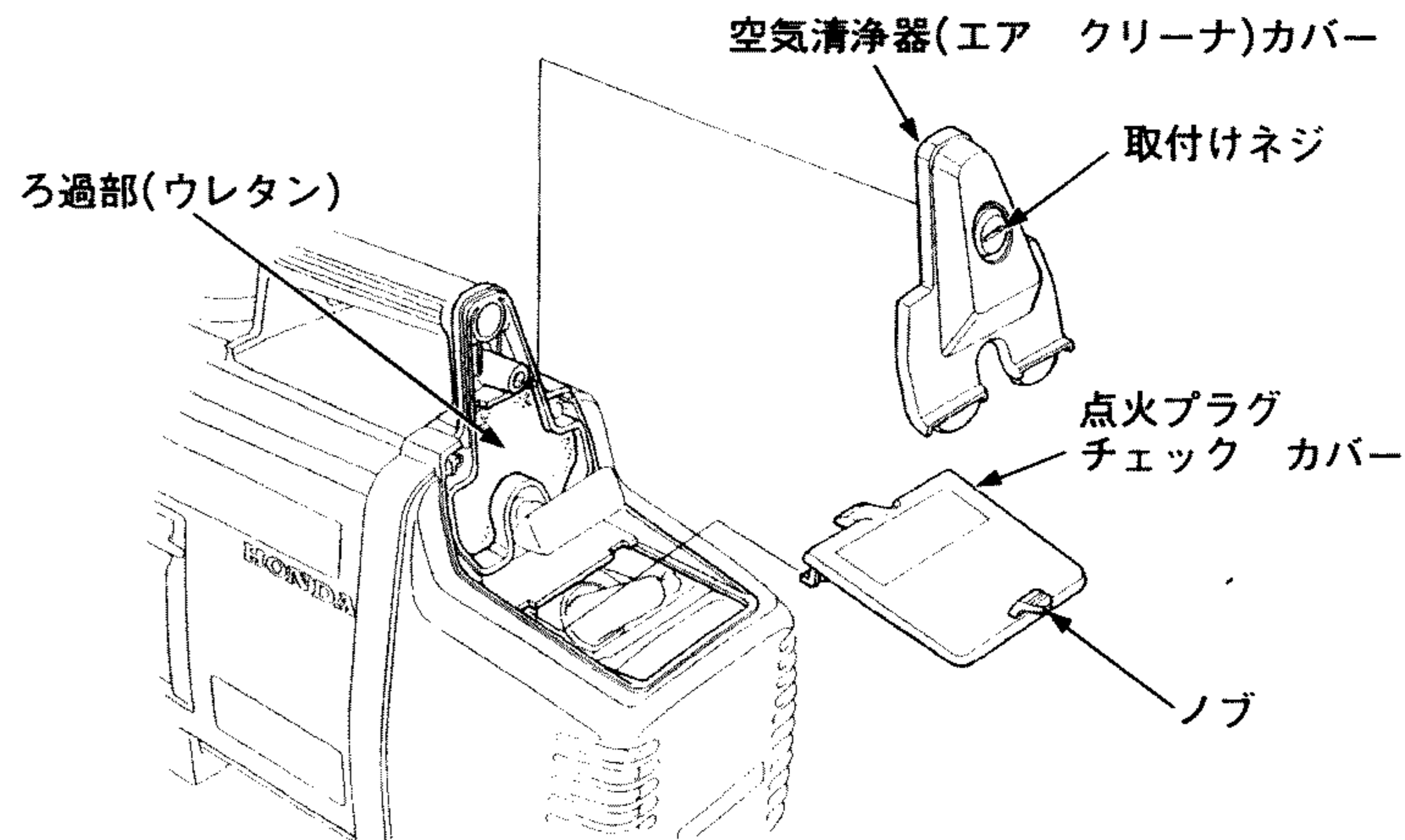
## 空気清浄器(エア クリーナ)の点検 点検

1. ノブを持ちあげて点火プラグ チェック カバーを外してください。
2. 取付けネジをマイナス ドライバ等でゆるめ、空気清浄器カバーを外してください。

- ろ過部の汚れを点検します。
- 汚れがひどい場合は、ろ過部の清掃を行ってください。(清掃方法は24頁参照)

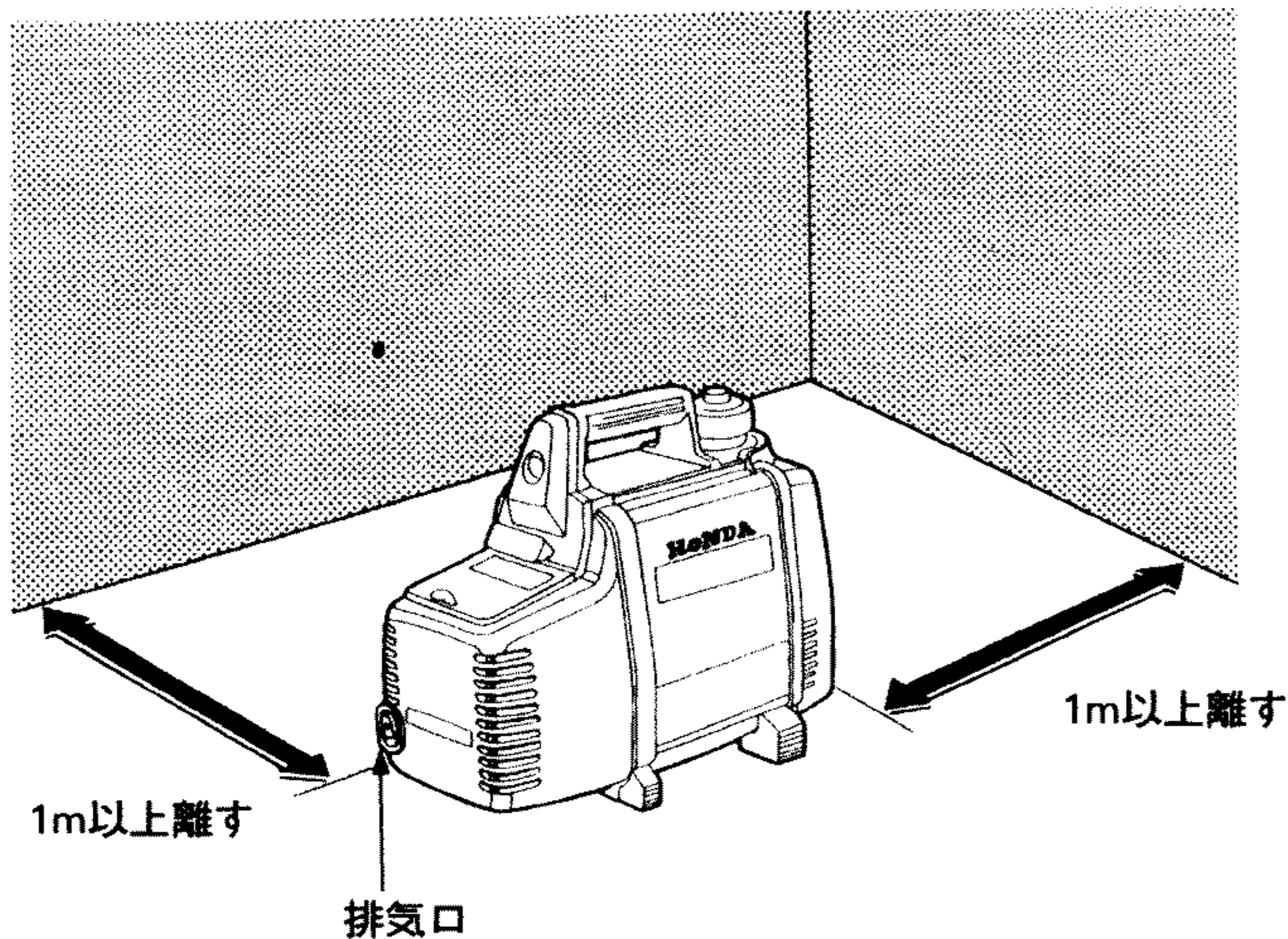
### 注意

- 空気洗浄器(エア クリーナ)カバーの締付けは確実に行ってください。締付けが悪いと振動してカバーが外れることがあります。
- 空気洗浄器(エア クリーナ)カバーやろ過部を装備しなかったり、取付け不良をすると、エンジンに悪影響を与える原因になります。
- ろ過部を取外す時は、空気洗浄器(エア クリーナ)ケース内にゴミ、ホコリ等を落とさないように注意してください。



## 発電機周囲の点検

- 車輛に積載したまま発電機を運転しない。
- 雨の中では使用しない。
- 燃えやすいものはないか、また危険物は置いてないか。
- 建物、および他の設置物から1m以上離れているか。
- 風通しはよいか、また換気は十分か。
- 排気口は風通しのよい、広い場所に向けてあるか。
- 周囲に火の気はないか。
- 発電機をダンボール等でかこってないか。
- 使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、軟らかい所では使用しない。  
やむを得ず使用する場合には発電機の下に板等を敷く。



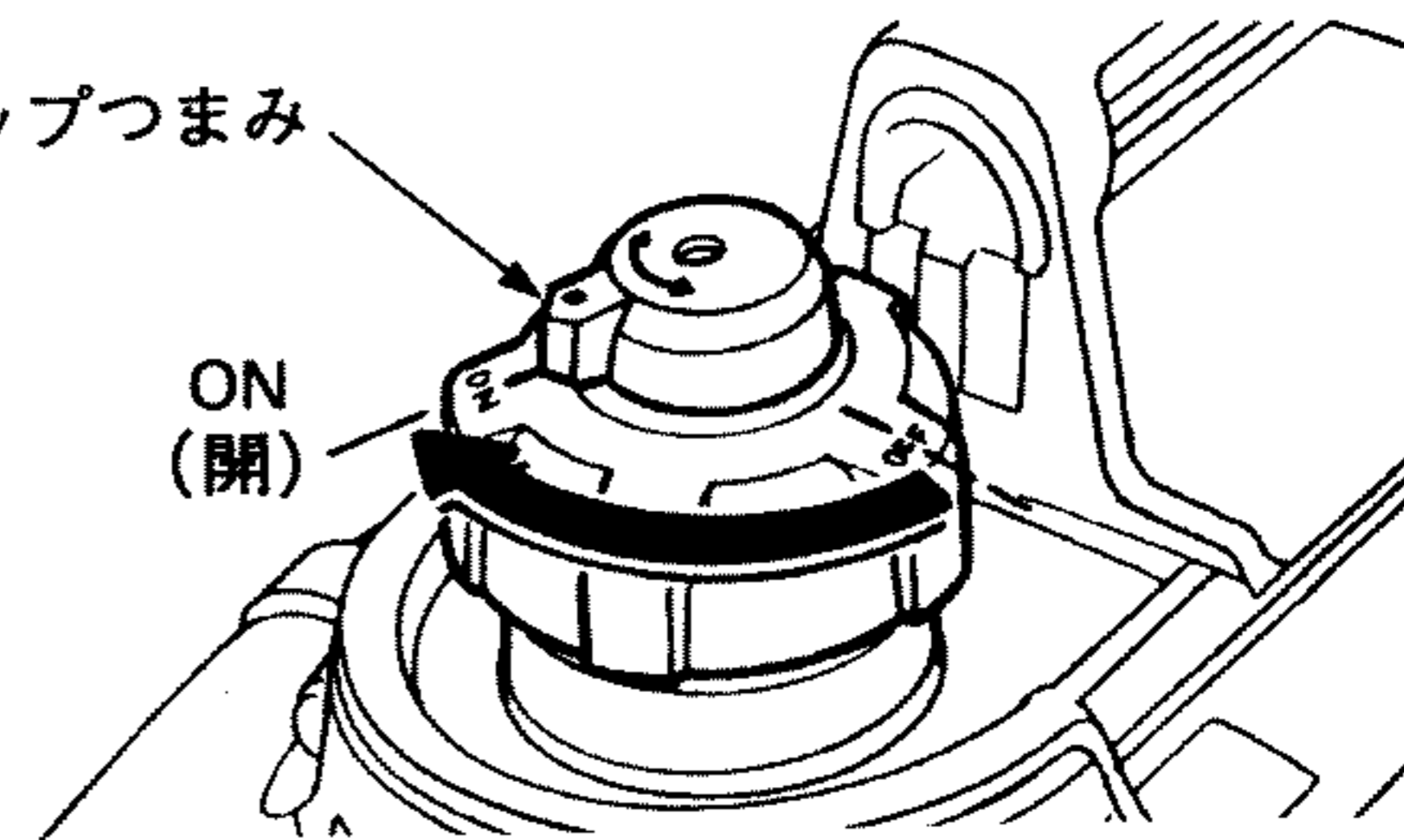
## 4 発電機のかけかた

1. 燃料タンク キャップについているつまみを“ON(開)”の位置にします。  
JHL, NHLタイプ  
(外部タンク付タイプは外部タンク側も“ON(開)”の位置にします。)

### 注意

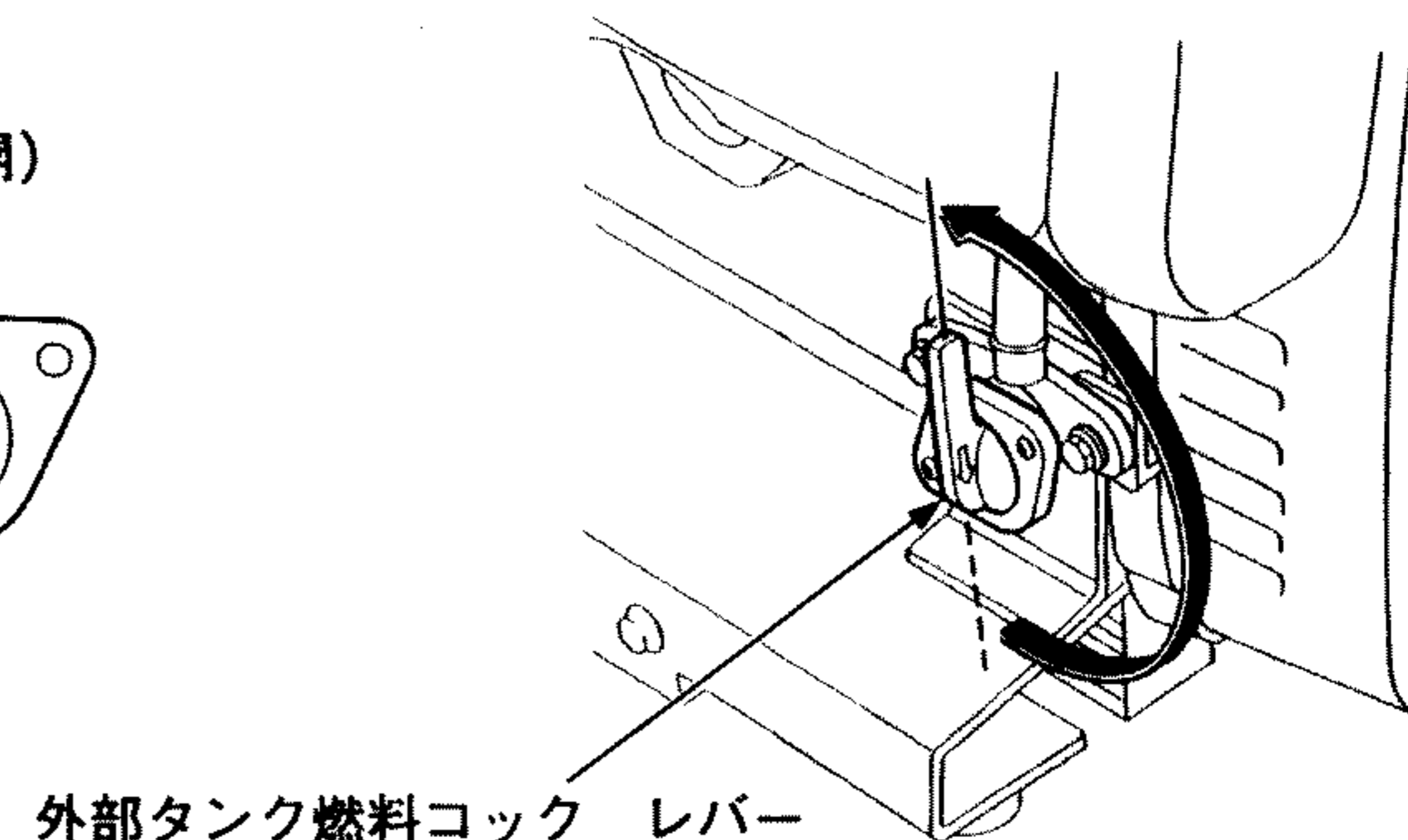
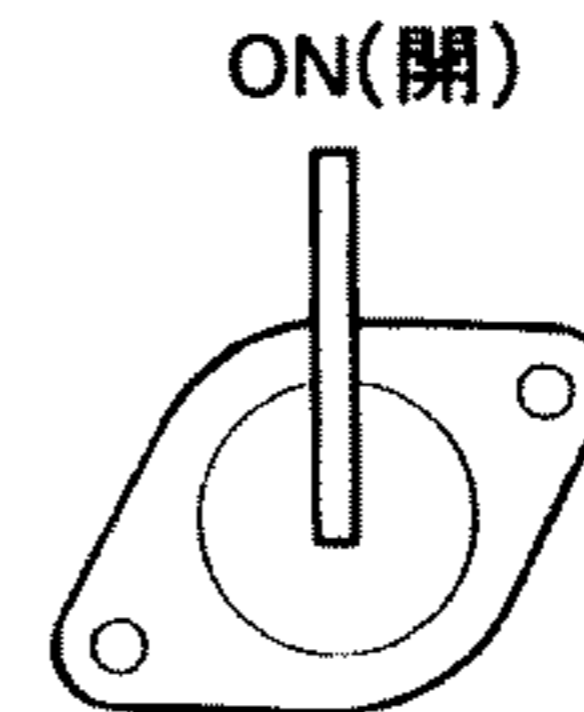
- タンク キャップつまみを“ON(開)”にしないと燃料が供給されず発電機が停止します。

タンク キャップつまみ



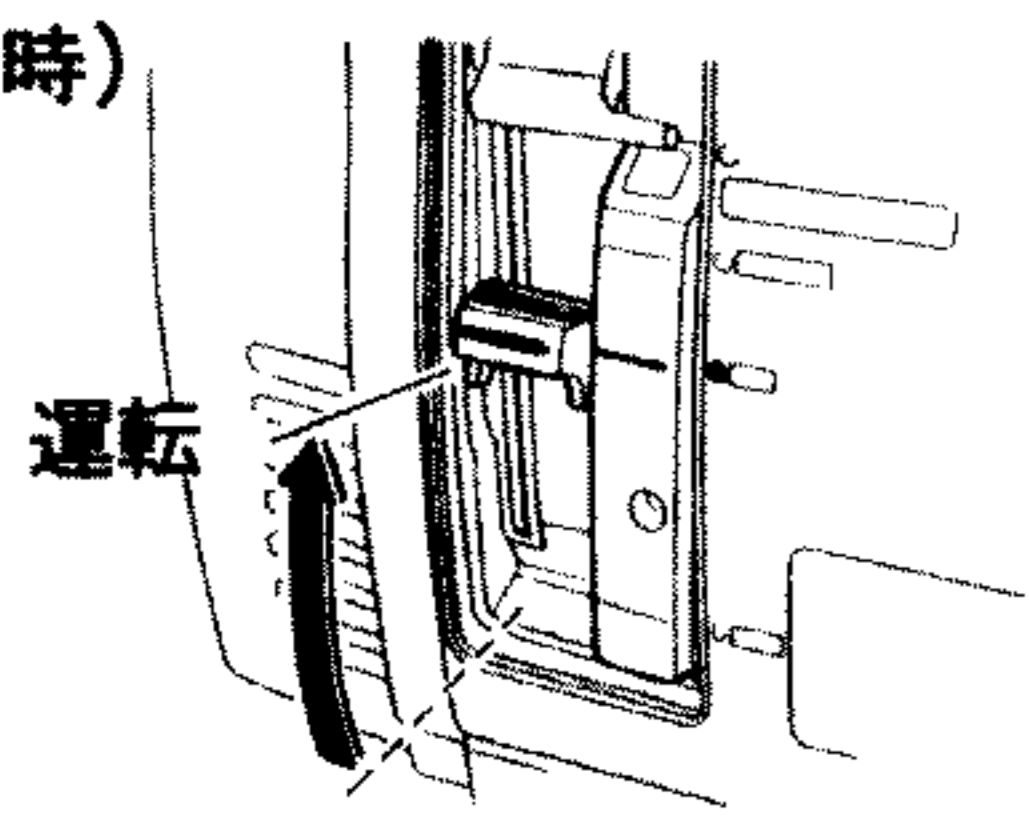
2. (JHL, NHLタイプのみ)

外部タンクを使用する場合は、外部タンク燃料コック レバーを“ON(開)”にします。



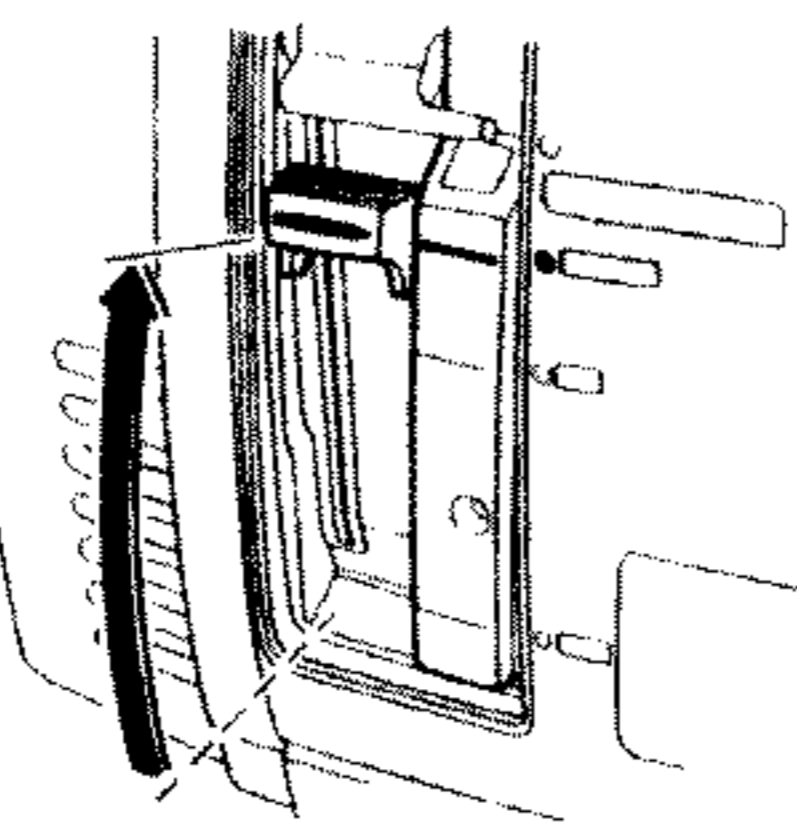
3. エンジン スイッチを“**運転**”の位置にします。  
 エンジン冷間時は、“**チョーク**”の位置にします。

(再始動時)



(冷間時)

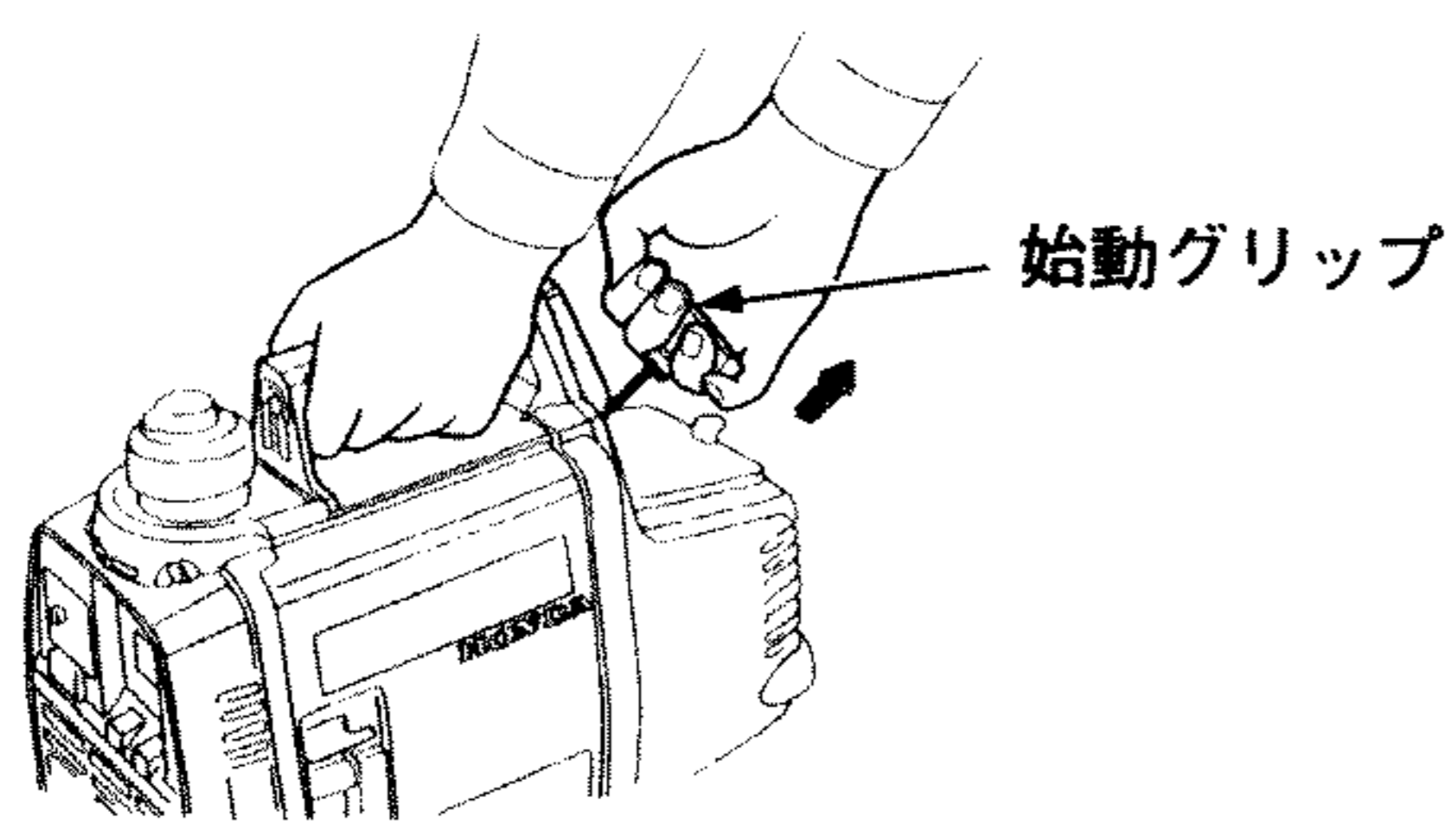
チョーク



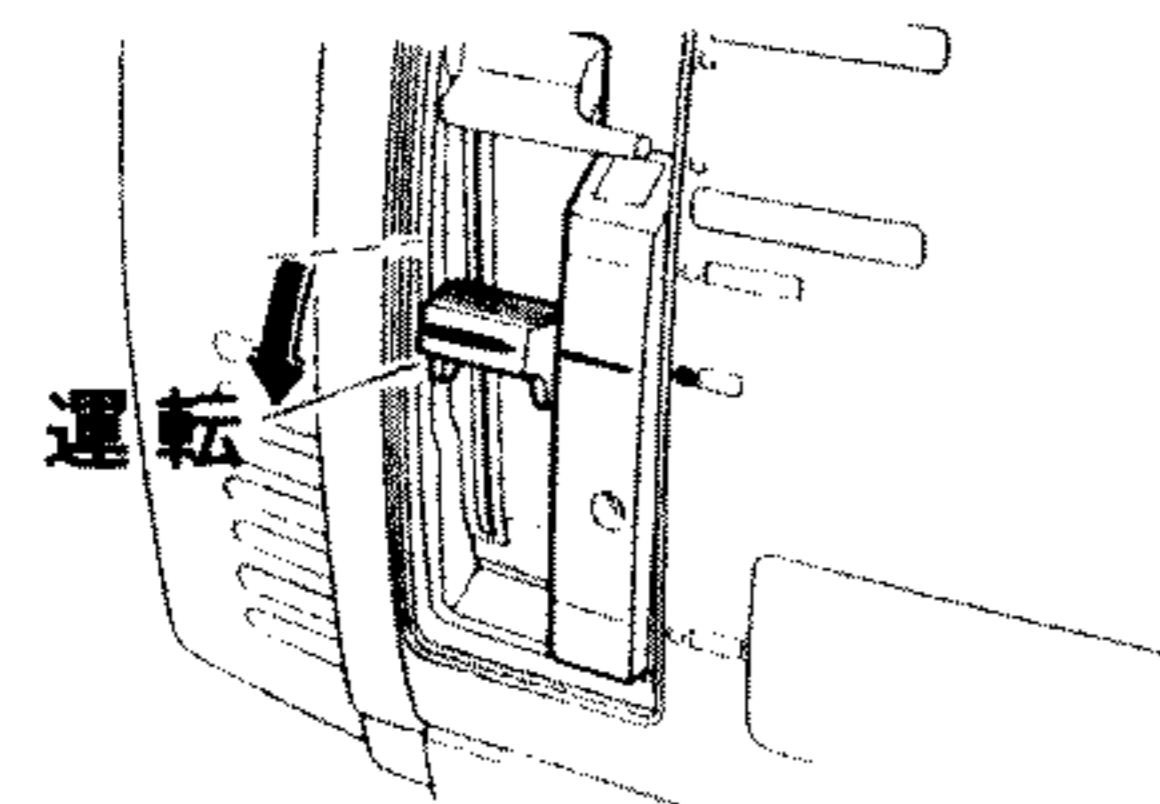
4. ハンドルを片手で押えて、始動グリップを引き、重くなる所をさがし勢いよく引きます。

注意

- グリップを引いたまま手を放さないでください。始動装置を破損することがあります。
- 運転中は始動グリップに手を触れないでください。エンジンに悪影響をあたえます。



5. 冷間時チョークを使用した場合は、エンジンが始動して回転が安定したら、エンジン スイッチを“**運転**”の位置にします。



## 5 電 気 の 取 出 し か た

注意

- 電力会社からの電気配線には絶対に接続しない。

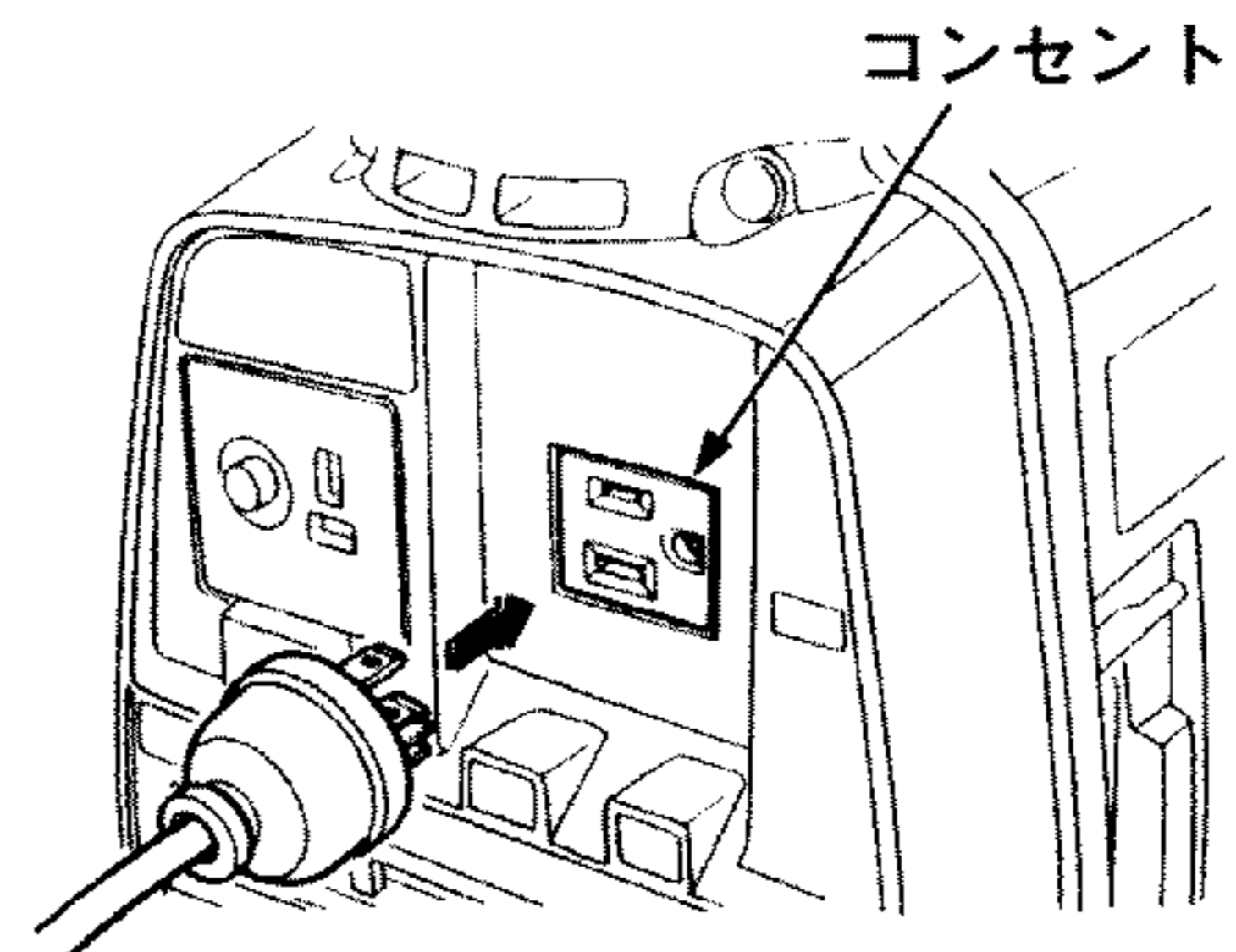
交流

コンセントへ接続電気器具のプラグを差込みます。

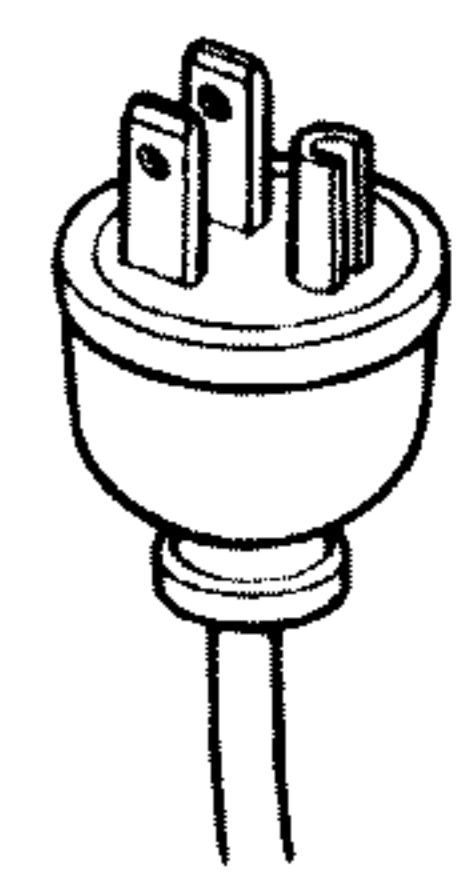
- 差込みプラグは別売りアース付3本足を使用してください。

注意

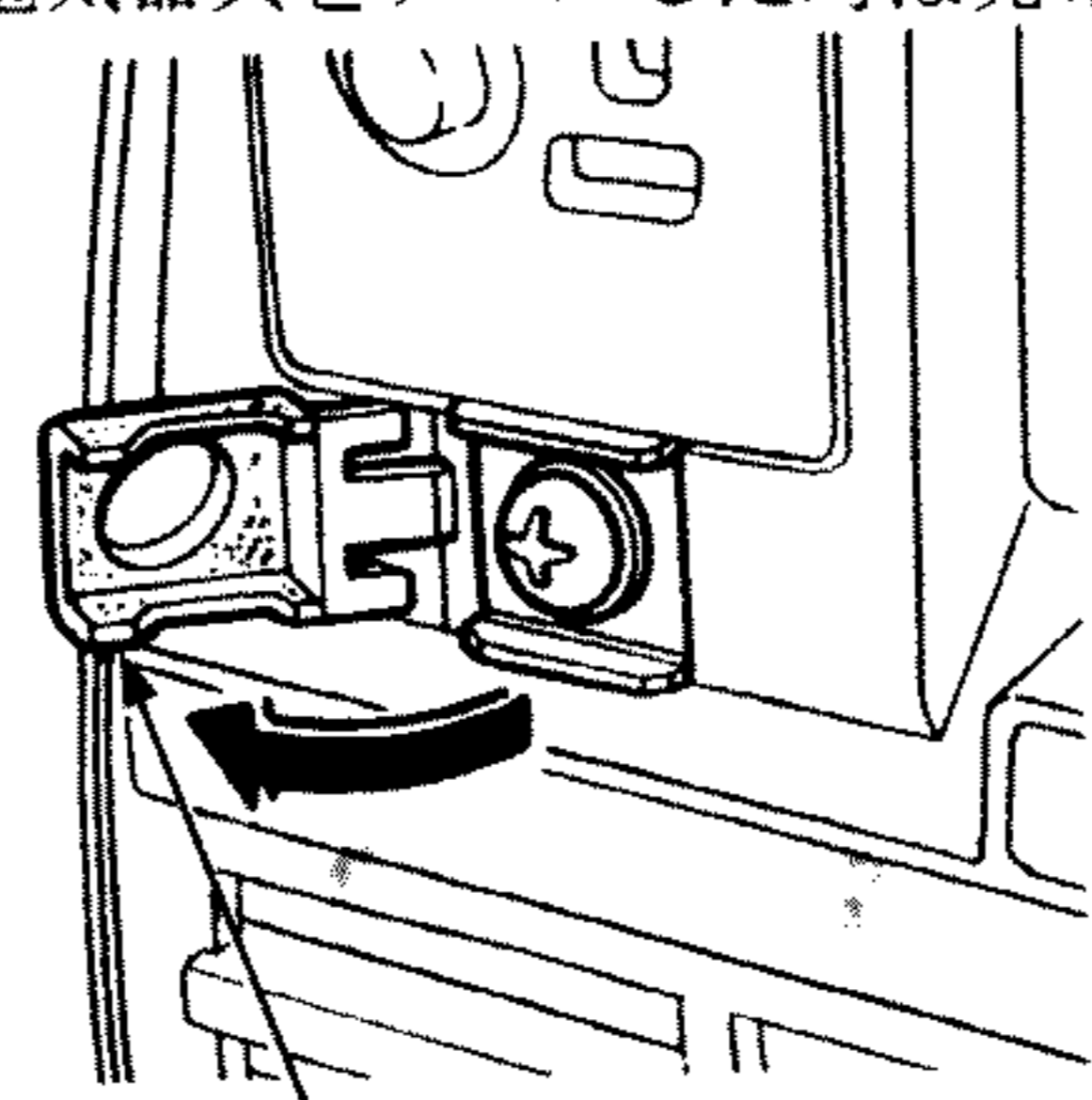
- 接続電気器具のスイッチは“**停止**”にしておきます。



3本足差込みプラグ(別売り)

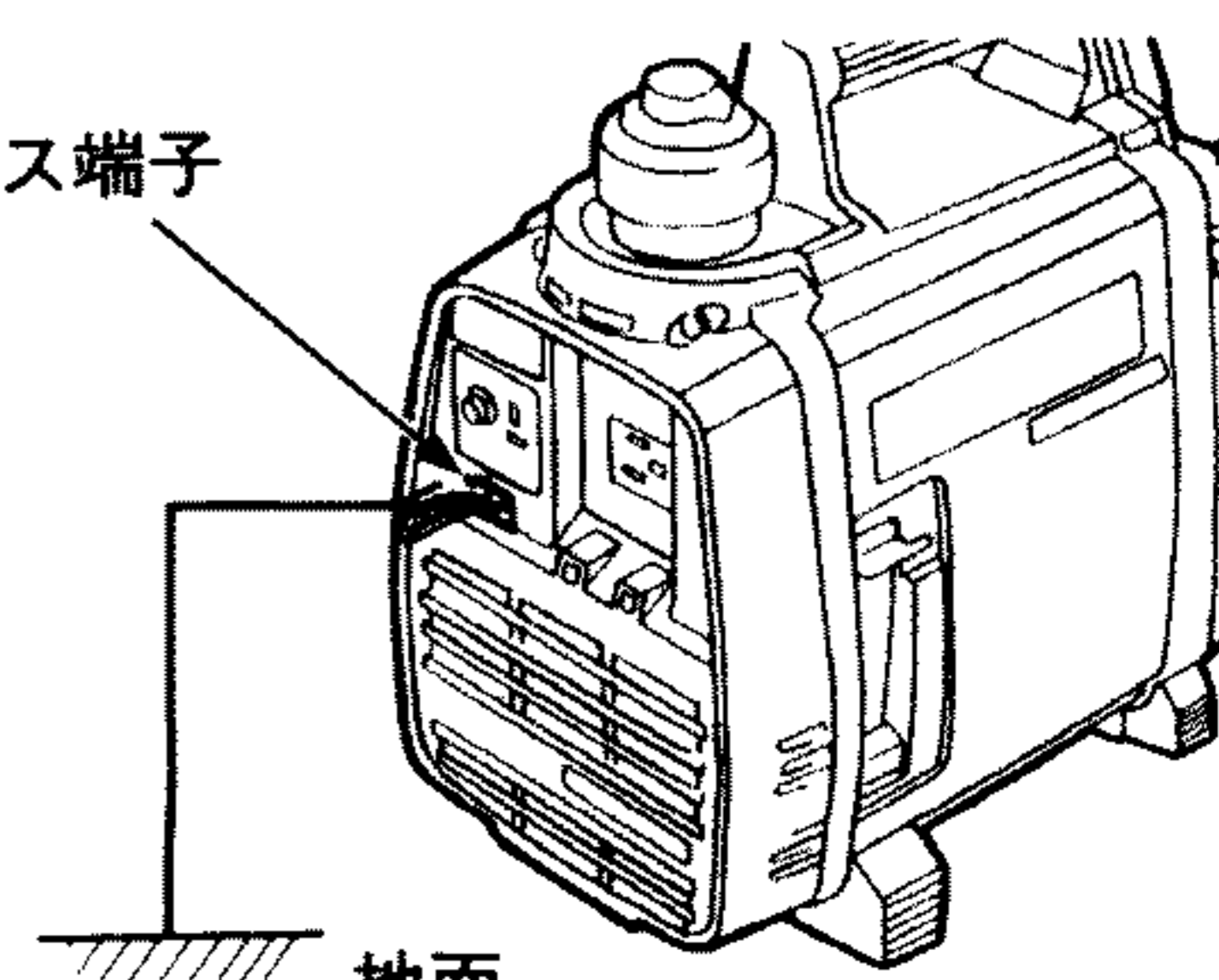


アース端子取出しカバーを外して、アース端子を接続してください。  
 接続電気器具をアースした時は発電機の本体も必ずアースしてください。



アース端子取出しカバー

アース端子



地面



## 過負荷警告灯／出力表示灯

- 正常運転(定格負荷)でご使用の場合は、“緑”のランプが点灯し続けます。
- 過負荷運転(300VA以上)や電気器具が異常を起こした場合は、“緑”のランプは消灯し、“赤”のランプが点灯し続け、この時点で保護装置が働いて発電は停止します。しかしエンジンは停止しませんので、エンジン スイッチを“停止”にしてください。

### 注意

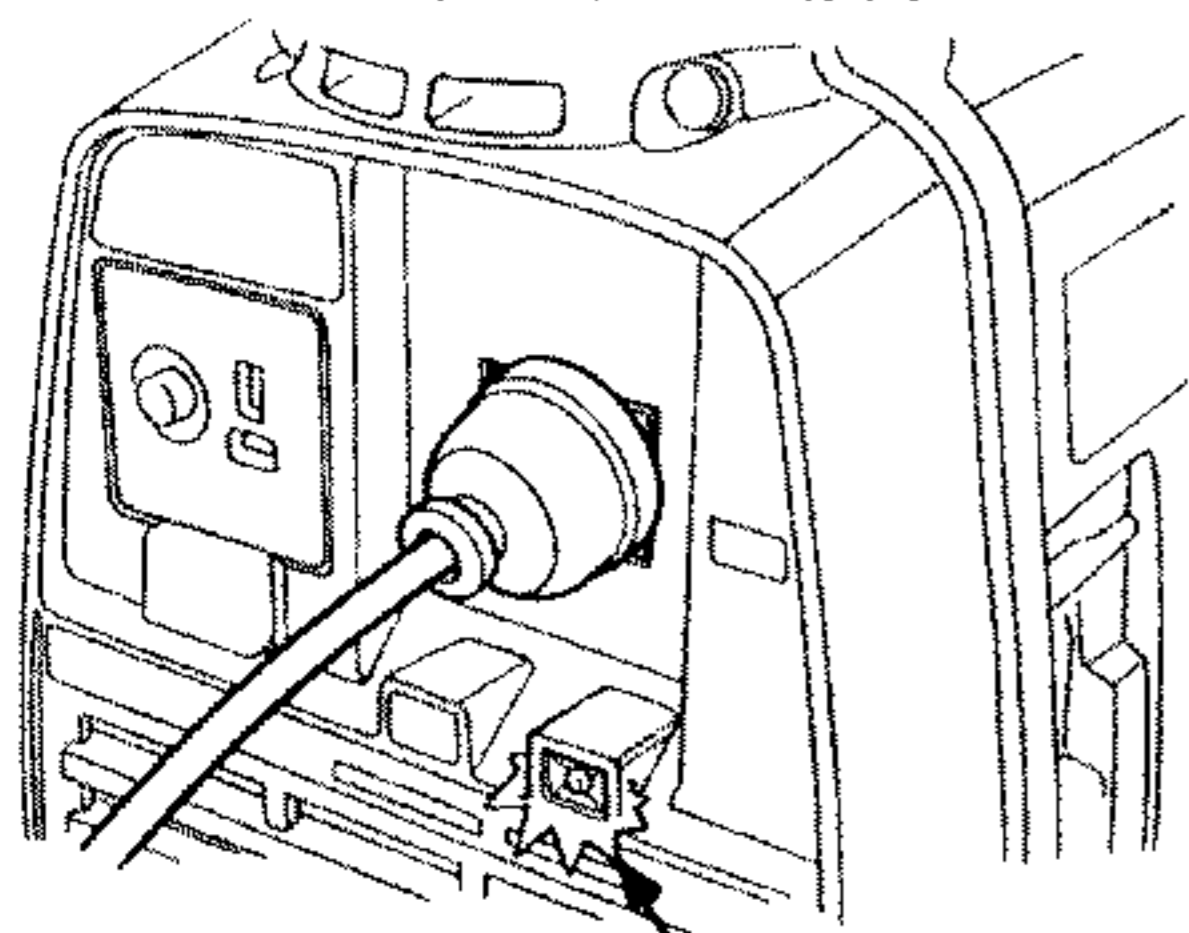
- 過負荷警告灯“赤”ランプは、次のような場合にも点灯します。
  1. 排気口の金網にカーボンが堆積したときエンジン回転が下がり、また停止する場合があります。(23頁を参照して清掃してください。)
  2. 排気管にカーボンが堆積したときエンジン回転が下がり、または停止する場合があります。排気管の清掃が必要ですのでお買いあげ販売店へお申しつけください。

## 異常を解除する方法

### 再度電気を取出す場合

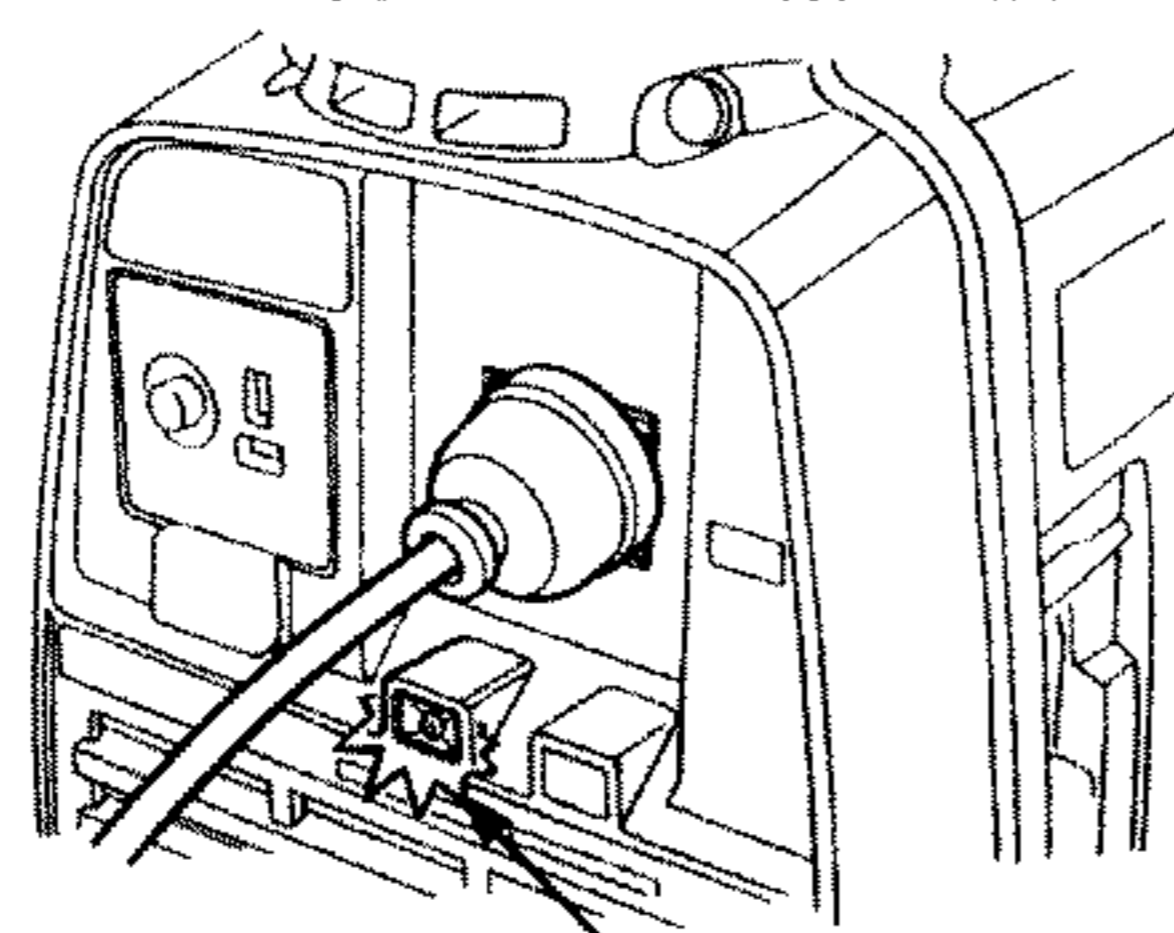
- 接続電気器具のプラグをコンセントから外し、器具や接続に異常がないか電気の取り出し過ぎでないか確認を行い、その後エンジンを始動してください。

正常運転の場合



出力表示灯(緑)

過負荷運転や短絡の場合



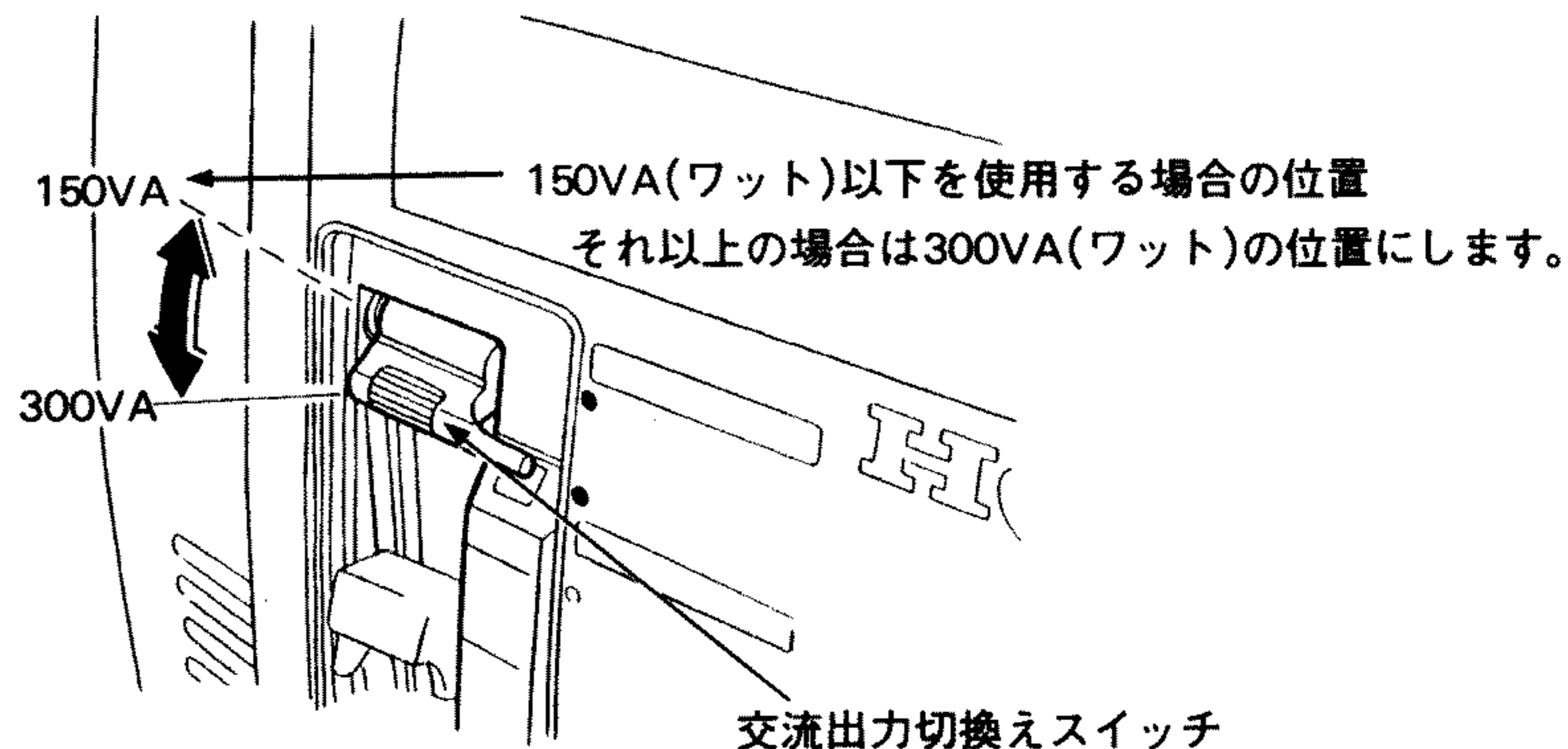
過負荷警告灯(赤)

### 注意

- モータなど大きな電力を必要とする電気器具の場合は、一時的(約10秒)に赤、緑のランプが同時に点灯しますが異常ではありません。モータなどが起動した後は、赤ランプが消え緑ランプが点灯し続けます。

## 交流出力切換えスイッチ

ご使用する電気器具により出力の切換えができます。



### 交流出力

100V - 150VA / 100V - 300VA まで  
(150ワット) (300ワット)

### 注意

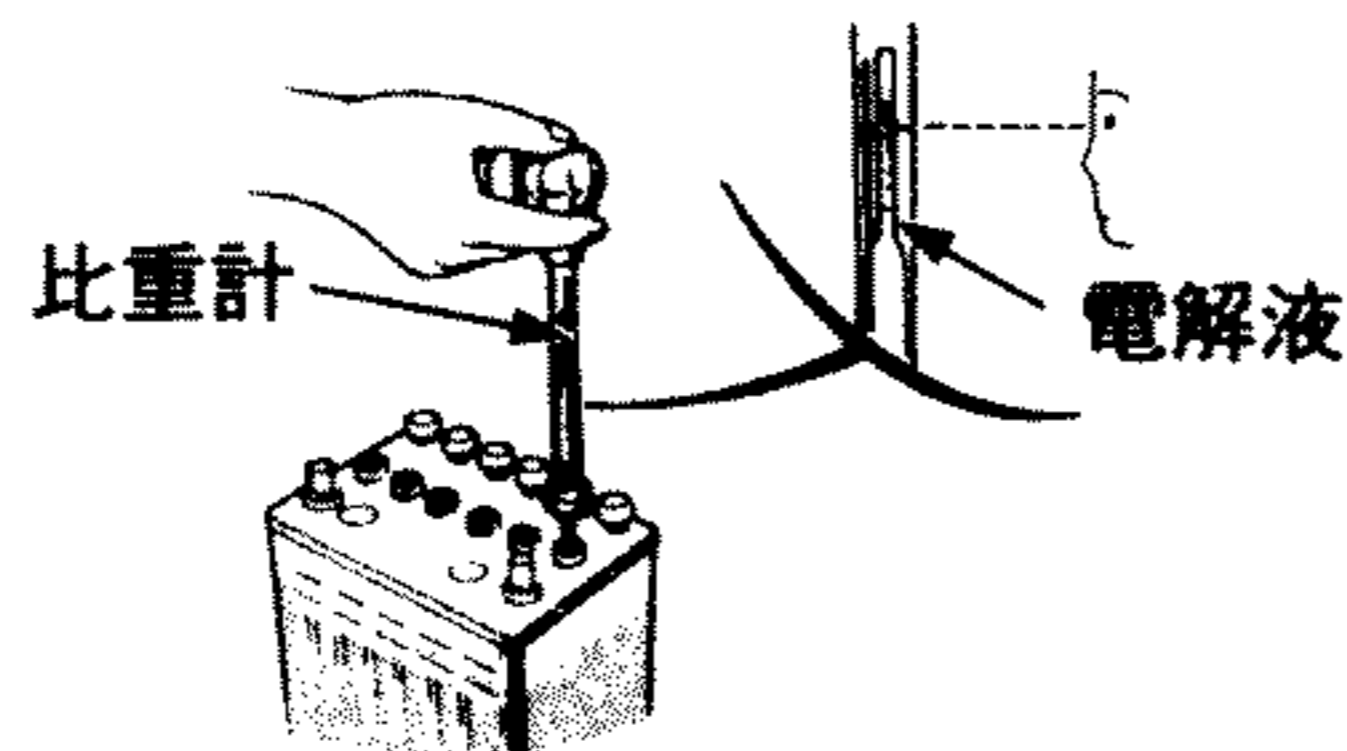
- 直流と交流を同時に使用する場合は、下記交流出力以下でご使用ください。  
250VA
- 使用できる範囲については30頁を参照ください。

## 直流(12Vバッテリー充電専用)

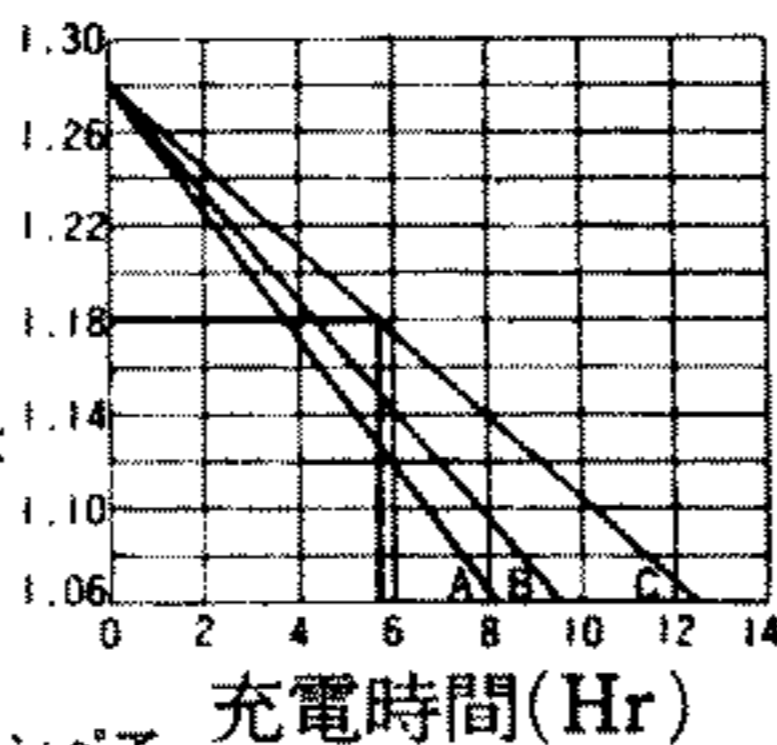
### 注意

- 直流をご使用になる場合は、交流出力切換えスイッチを必ず300VAの位置にしてください。

1. バッテリーのコードを外してください。  
⊖コードを先に取外す。
2. バッテリーの栓を外して、バッテリー液量が下限(LOWER)に近かったら、蒸留水を上限(UPPER)まで補給してください。
3. 比重計で比重を測定します。
4. バッテリーの比重を基に充電時間をもとめてください。  
(例) 右記の図は比重1.18の47Ah / 20HRバッテリーを約5時間30分充電すると満充電になることを示しています。
5. 充電コードの接続は必ず図の番号順に行ってください。



比重と充電時間



バッテリー：バッテリー容量

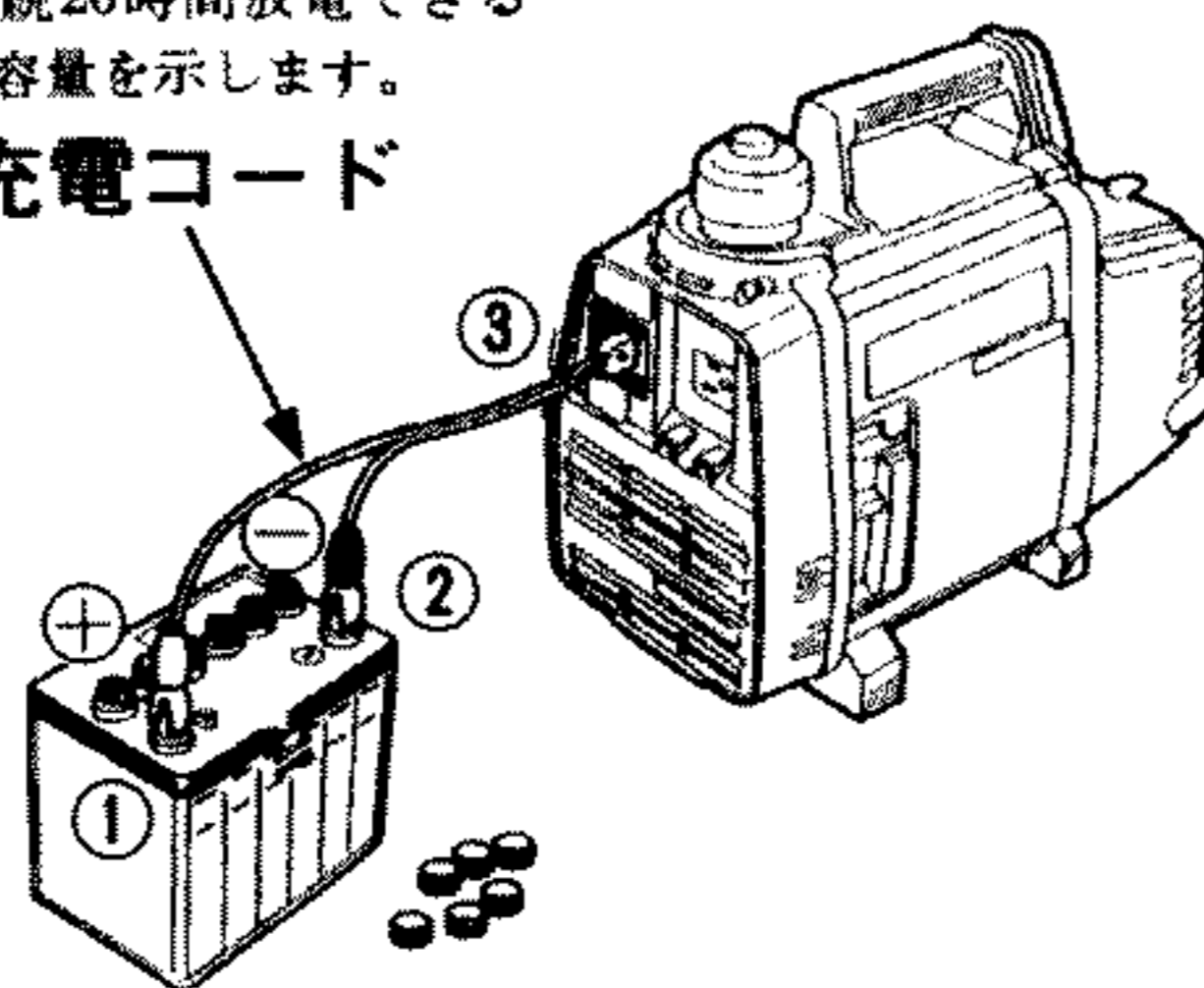
A: (30Ah/20HR)

B: (35Ah/20HR)

C: (47Ah/20HR)

\* 30Ah 20HRとは(30アンペアアワー/20時間率放電時)電流1.5Aで連続20時間放電できるバッテリー容量を示します。

充電コード

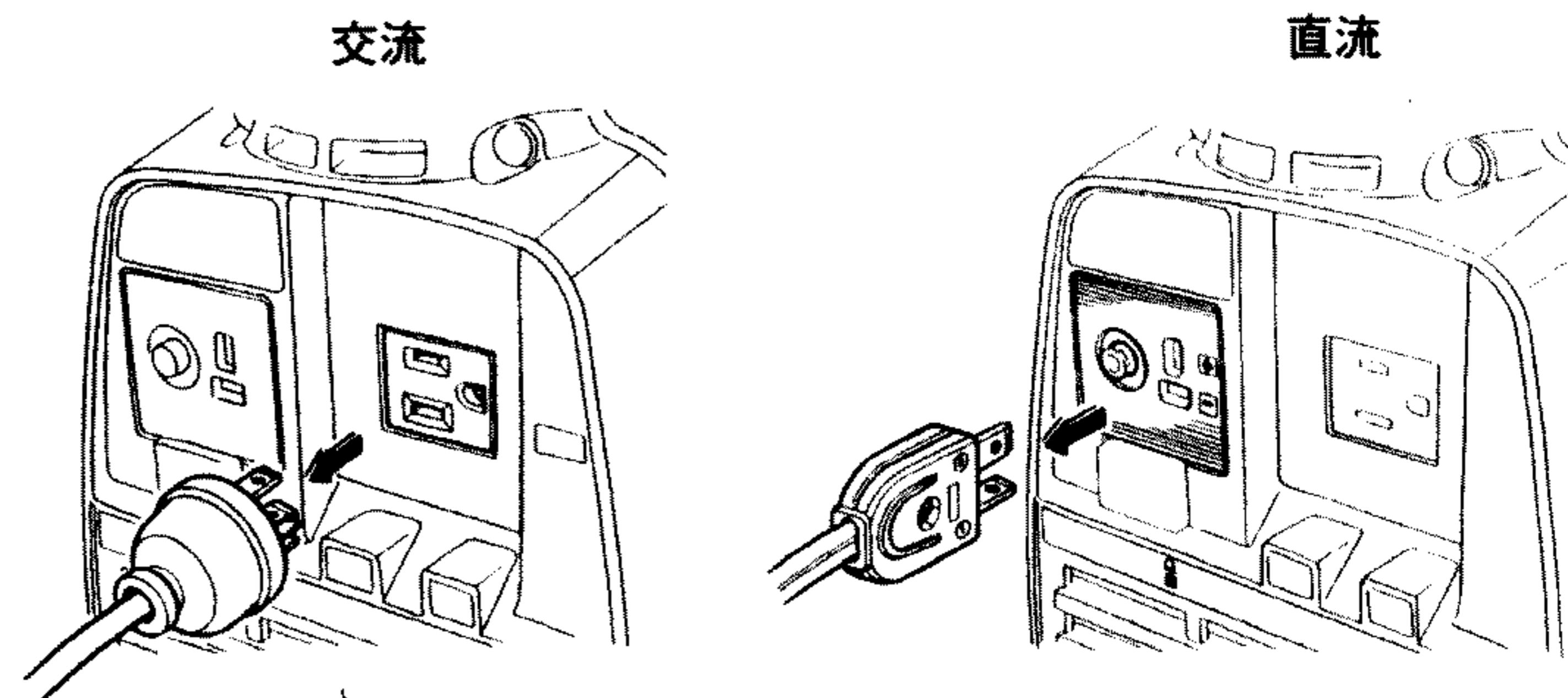


### 注意

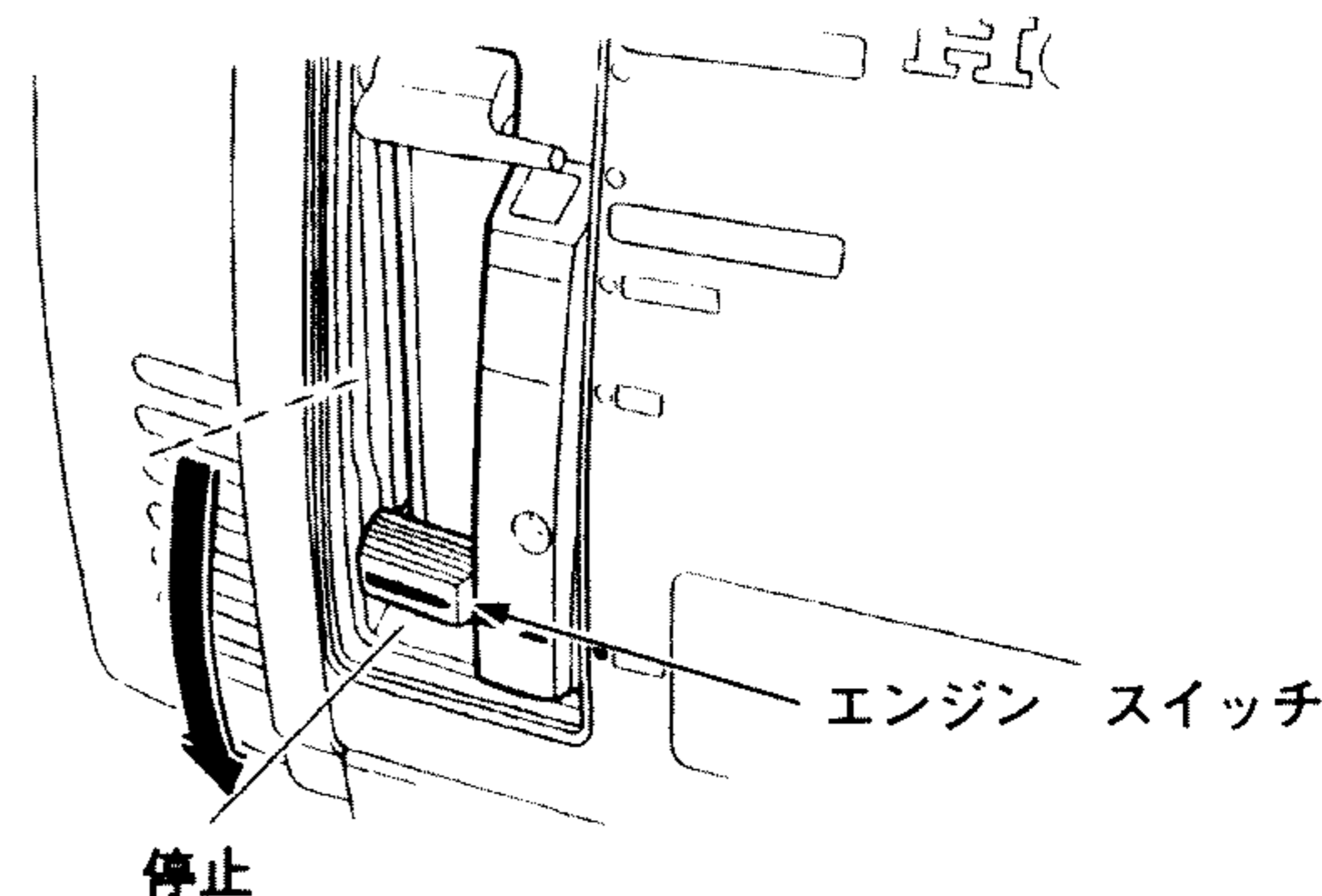
- バッテリーの種類、放電状態によって充電時間は異なる場合があります。
- 充電コードは⊕⊖の極性を間違いなく接続してください。
- バッテリーからは可燃性の水素ガスが発生しているため、取扱うときは風通しのよいところで火気を近づけないでください。爆発の危険があります。また、バッテリー液が目、皮膚に着くと、その部分が冒されますので十分ご注意ください。
- 万一、付着したときは、すぐ多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- 比重は1時間おきくらいに計り、また直流リセットスイッチが切れていないか確認してください。(目安としては満充電の比重は1.26~1.28です。)

## 6 発電機のとめかた

1. 接続電気器具のスイッチを切り、差込みプラグを抜きます。

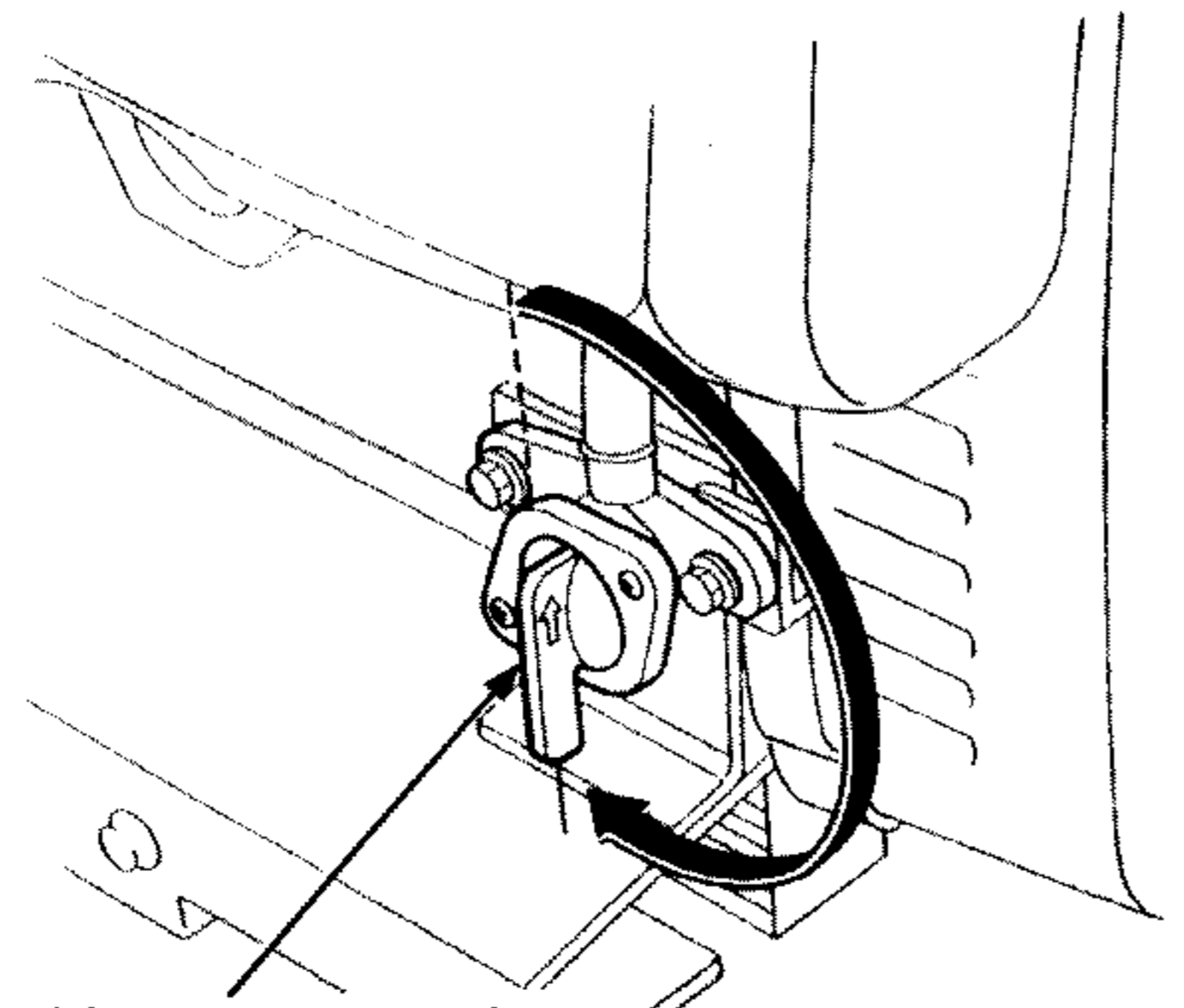
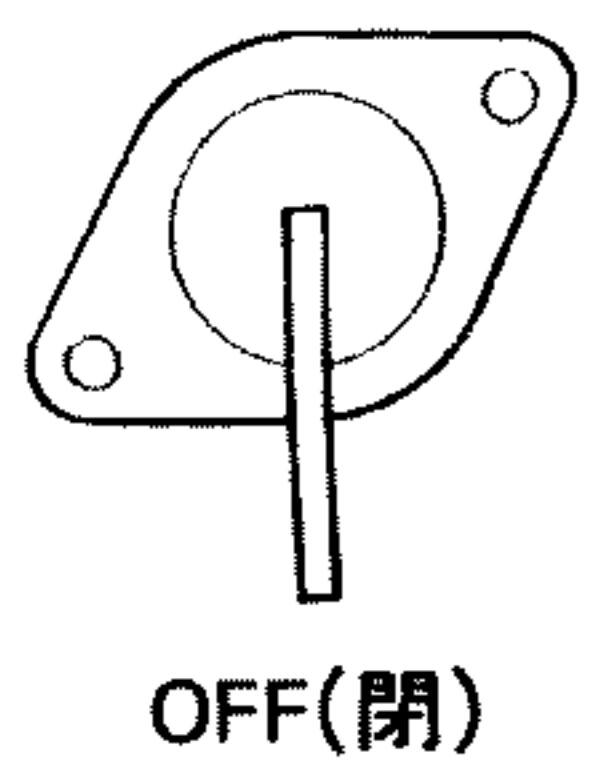


2. エンジン スイッチを“停止”の位置にします。



3. (JHL, NHLタイプのみ)

外部タンクを使用した場合は、外部タンク燃料コック レバーを“OFF(閉)”にします。

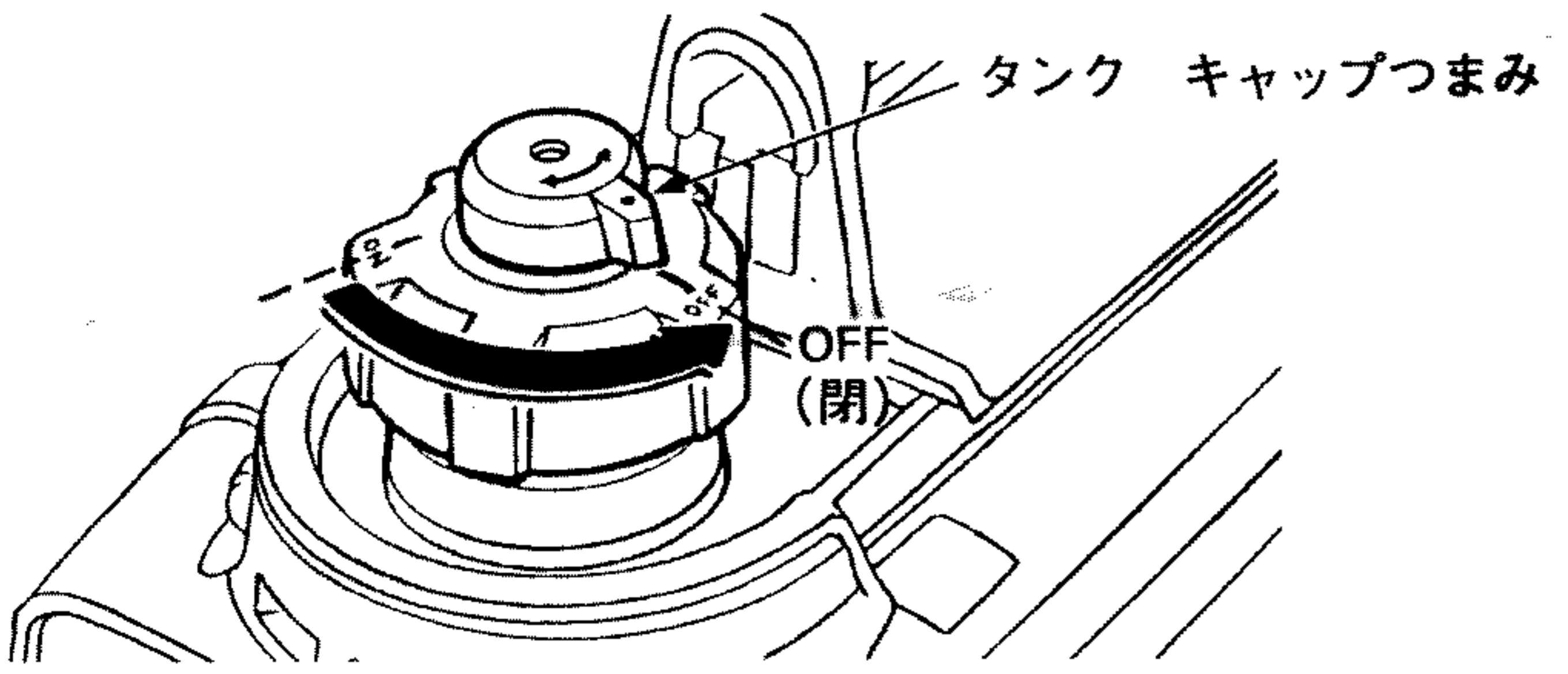


外部タンク燃料コック レバー

4. 燃料タンク キャップについているつまみを“OFF(閉)”の位置にします。

JHL, NHLタイプ

(外部タンク付タイプは外部タンク側も“OFF(閉)”の位置にします。)



注意

- エンジン停止時または運搬、保管時には、必ずタンク キャップつまみを“OFF(閉)”にしてください。

# 7 定期点検を受けましょう

この取扱説明書に記載されているお客様ご自身で行っていただく点検、整備項目のほかに、お買いあげ販売店で定期的の実施していただく項目があります。お買いあげいただきましたホンダ発電機をいつまでも調子よく、長持ちさせるために定期点検を受けましょう。

販売店で実施する定期点検整備項目

- 燃焼室の清掃(排気ポート含む)..... 12カ月毎又は300時間毎実施
- マフラ、エキパイの清掃..... 12カ月毎又は300時間毎実施
- 燃料タンク、燃料ろ過網の清掃..... 12カ月毎
- 燃料チューブの点検..... 2年毎
- 交換..... 4年毎

# 8 や さ し い 点 検 ・ 整 備

## 排気口金網の清掃

排気口金網が目詰りするとエンジン回転が低下し(エンジンが停止する場合があります。)発電できなくなるので定期的に清掃しましょう。

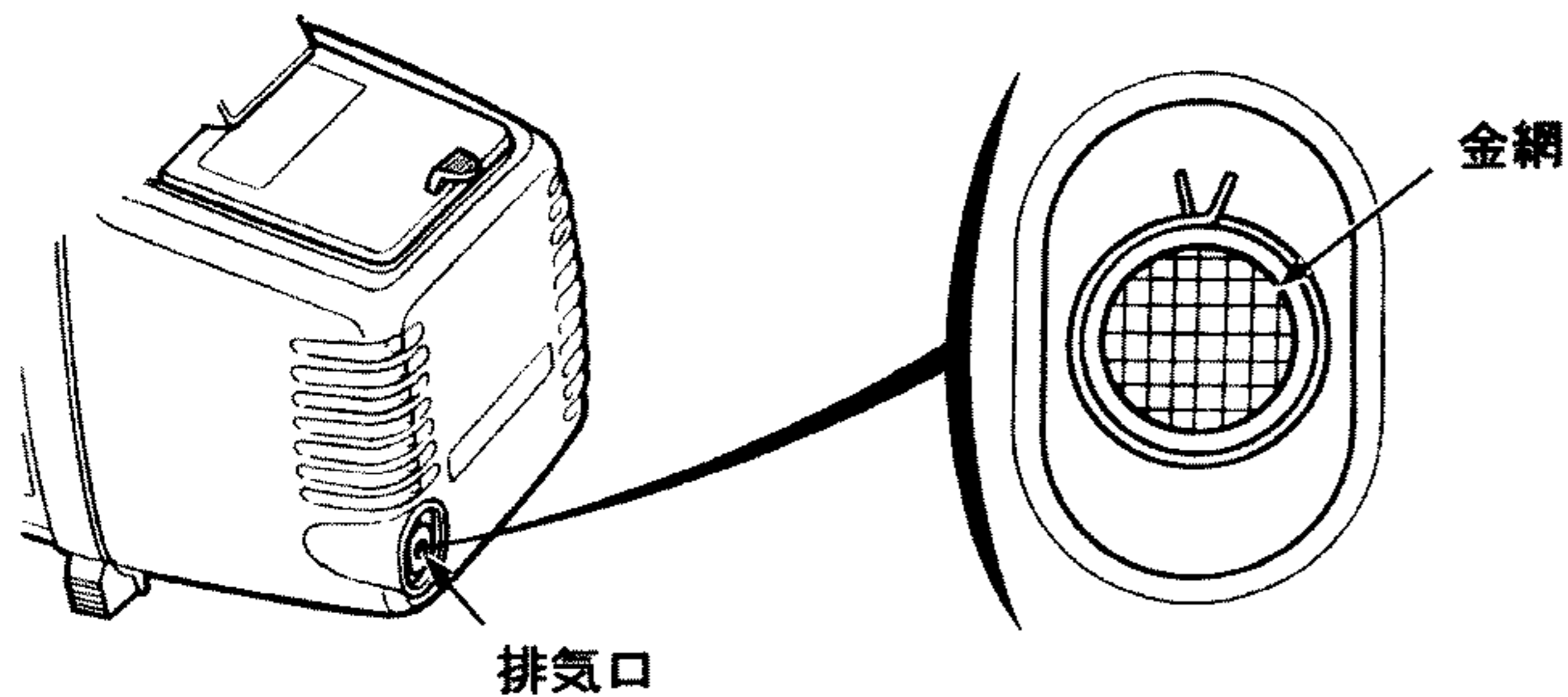
〈清掃時期〉 清掃：100時間毎

〈清掃のしかた〉

排気口金網の目詰りをブラシ等できれいに除去してください。

### 注意

● 清掃するときは、金網を变形させないように注意してください。



## 空気清浄器(エア クリーナ)の清掃

空気清浄器(エア クリーナ)が目詰りをすると出力不足や燃料消費が多くなるので定期的に清掃しましょう。

〈清掃時期〉

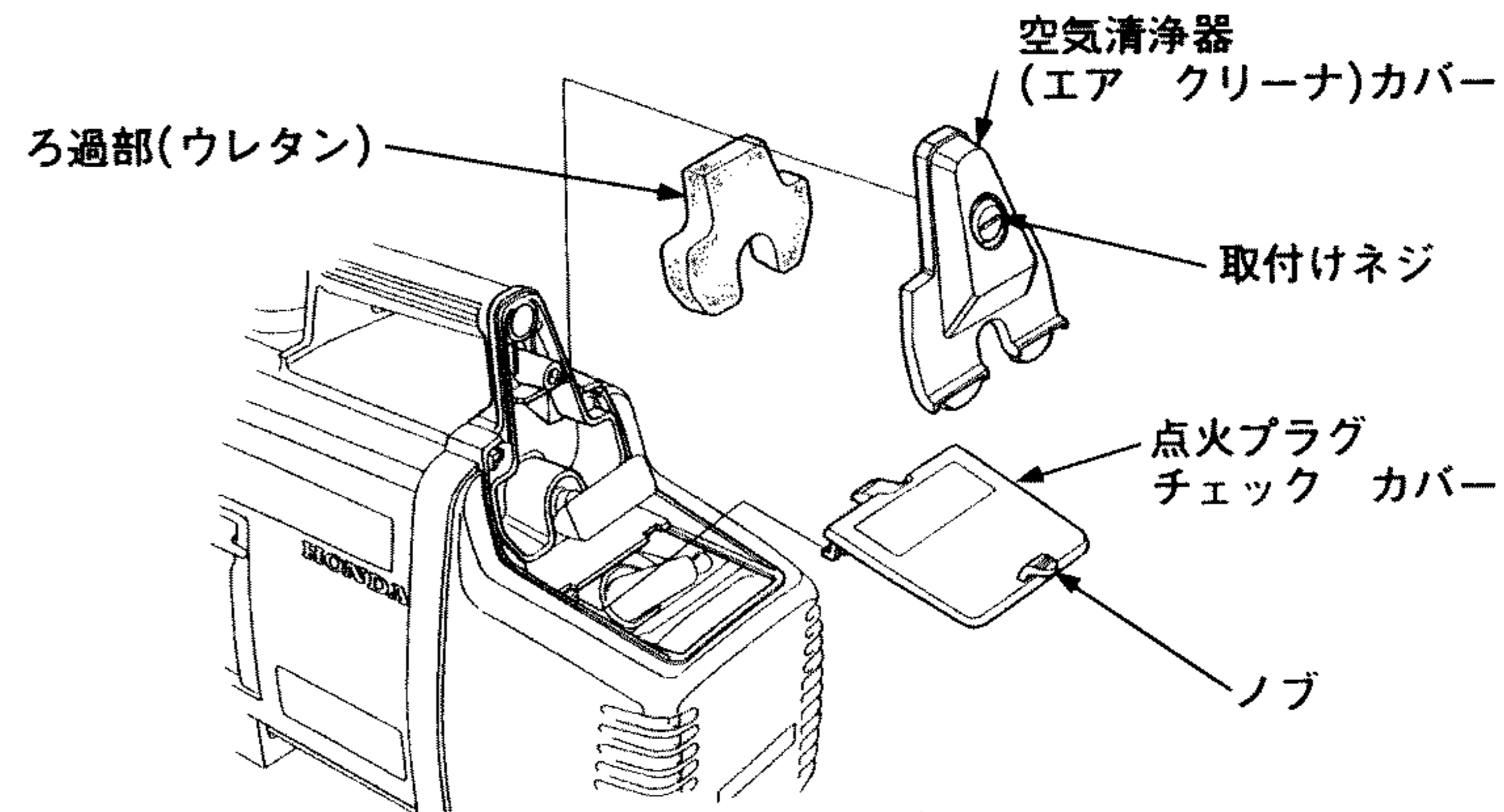
清掃：50時間毎 ホコリの多い場所で使用した場合は1日1回または10時間毎。

〈清掃のしかた〉

1. ノブをあげて、点火プラグ チェック カバーを外してください。
2. 取付けネジをマイナス ドライバ等でゆるめ、空気清浄器(エア クリーナ)カバーを外してください。
3. ろ過部(ウレタン)を取外し洗い油で洗浄し、固くしぼってからオイル[ウルトラ ネオ汎用機用(SAE30), ウルトラ-U<2輪車用>(SAE10W-30)等4サイクル エンジン オイル]に浸し、しぼります。
4. ろ過部(ウレタン)と空気清浄器(エア クリーナ)カバーを確実に取付けます。

### 注意

- ろ過部(ウレタン)を洗浄する時は火気厳禁。
- カバーの取付けが不完全であったり、ろ過部(ウレタン)が变形して取付けられた場合、またはろ過部が取付けられていない場合にはエンジンの耐久性に著しく悪影響を与えます。



## 点火プラグの点検、調整

電極が汚れたり、電極のすき間が不適當ですと、完全な火花が飛ばなくなり発電機不調の原因になります。

〈清掃時期〉 清掃：100時間毎

〈清掃・調整のしかた〉

- 点火プラグ チェック カバーを外してください。
- プラグ レンチ、プラグ レンチ ハンドルで点火プラグを取外します。
- プラグを清掃します。  
清掃はプラグ クリーナを使用するのが最も良い方法です。お買いあげ販売店へお申しつけください。プラグ クリーナが無いときは針金かワイヤ ブラシで汚れを落としてください。
- 側方電極をつめ、火花すき間を下記寸法に調整します。  
0.6—0.7 mm
- 取付けはまず指で軽くねじ込み、次にプラグ レンチ、プラグ レンチ ハンドルで確実に締付けてください。

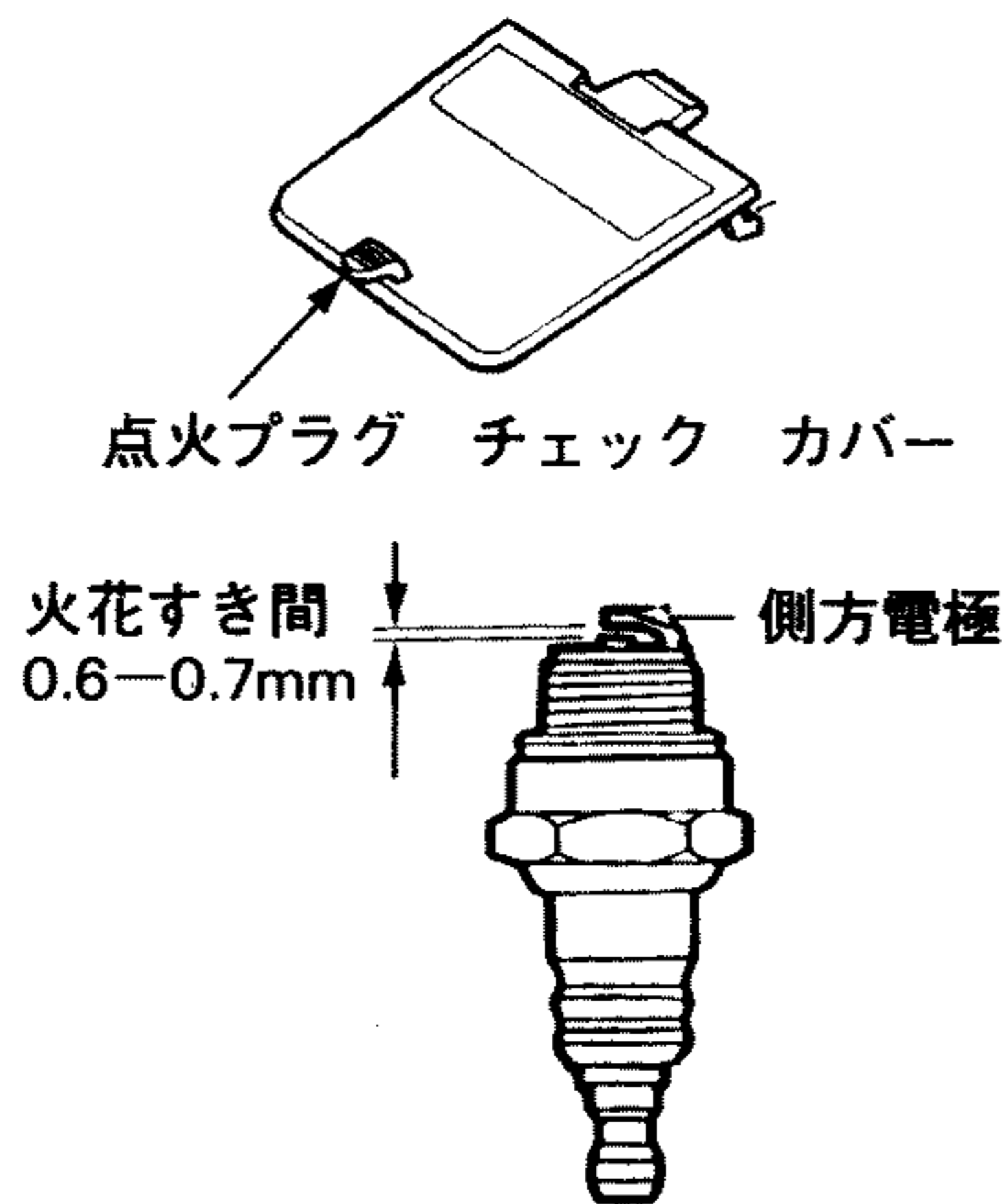
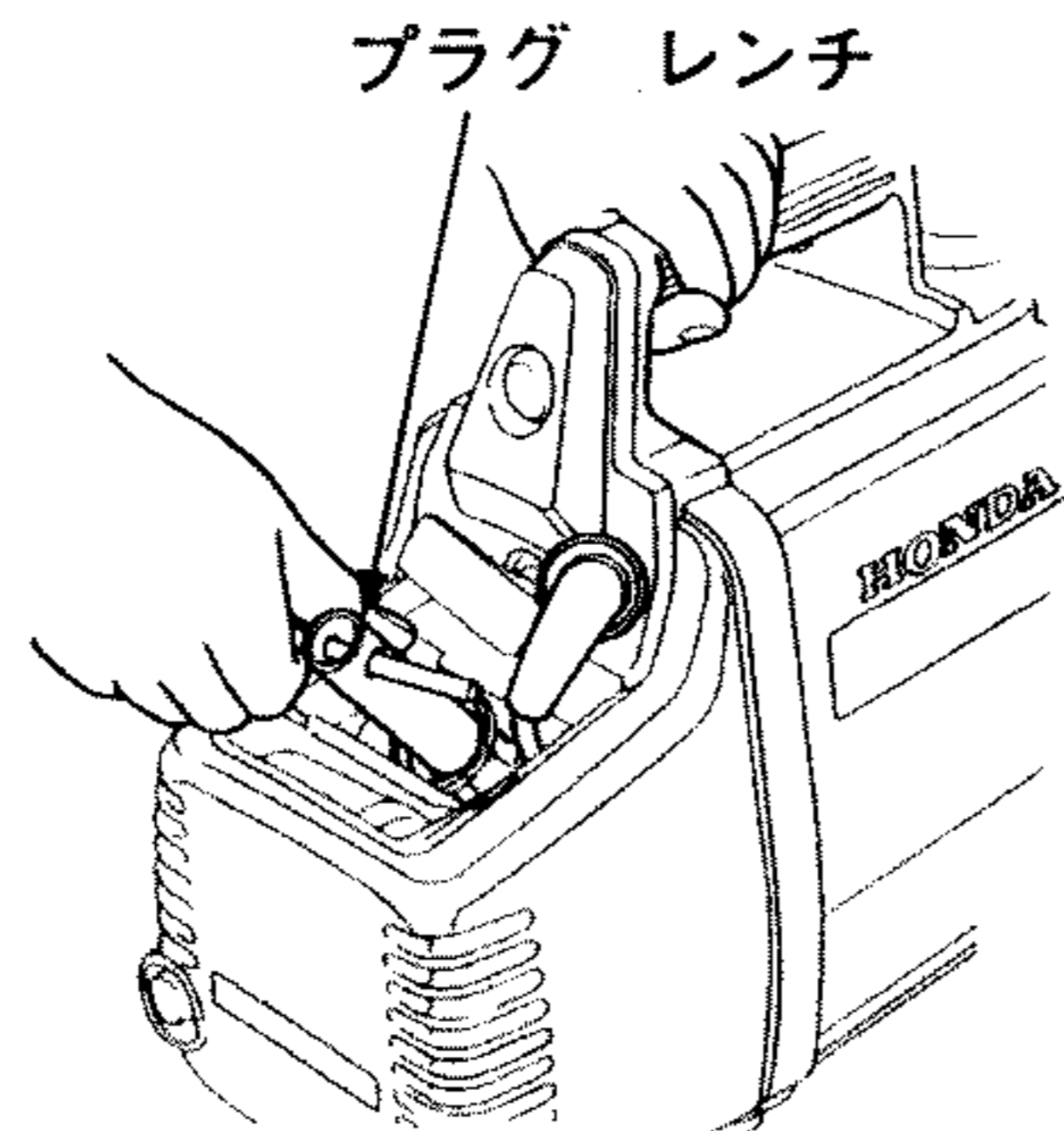
〈指定プラグ〉

BMR-6A(NGK)

W20MR-U(NIPPONDENSO)

注意

- 指定以外のプラグを使用しないでください。指定以外のプラグを使用するとくすぶり、焼けすぎを起こします。これは始動不良、回転不調、馬力不足などの原因になります。
- エンジン停止直後は温度が高いため、やけどをしないよう注意してください。



## ⑨ 長期間使用しない時の手入れ

★長期間運転しない場合、または長期格納する場合は次の手入れを行ってください。

1. 発電機各部の清掃を行います。
2. 空気清浄器(エア クリーナ)を清掃します。
3. 燃料タンク内と気化器内の燃料を抜きます。

内部タンク内の燃料抜き

- エンジン スイッチを“**運転**”(外部タンク付、JHL, NHLタイプは外部タンク燃料コック レバーを“OFF(閉)”にします。)にして、タンク キャップつまみを“ON(開)”にします。気化器のドレン スクリューをゆるめて、燃料を容器に受けます。完全に燃料が抜けたら、ドレン スクリューを元に戻します。

外部タンク内の燃料抜き

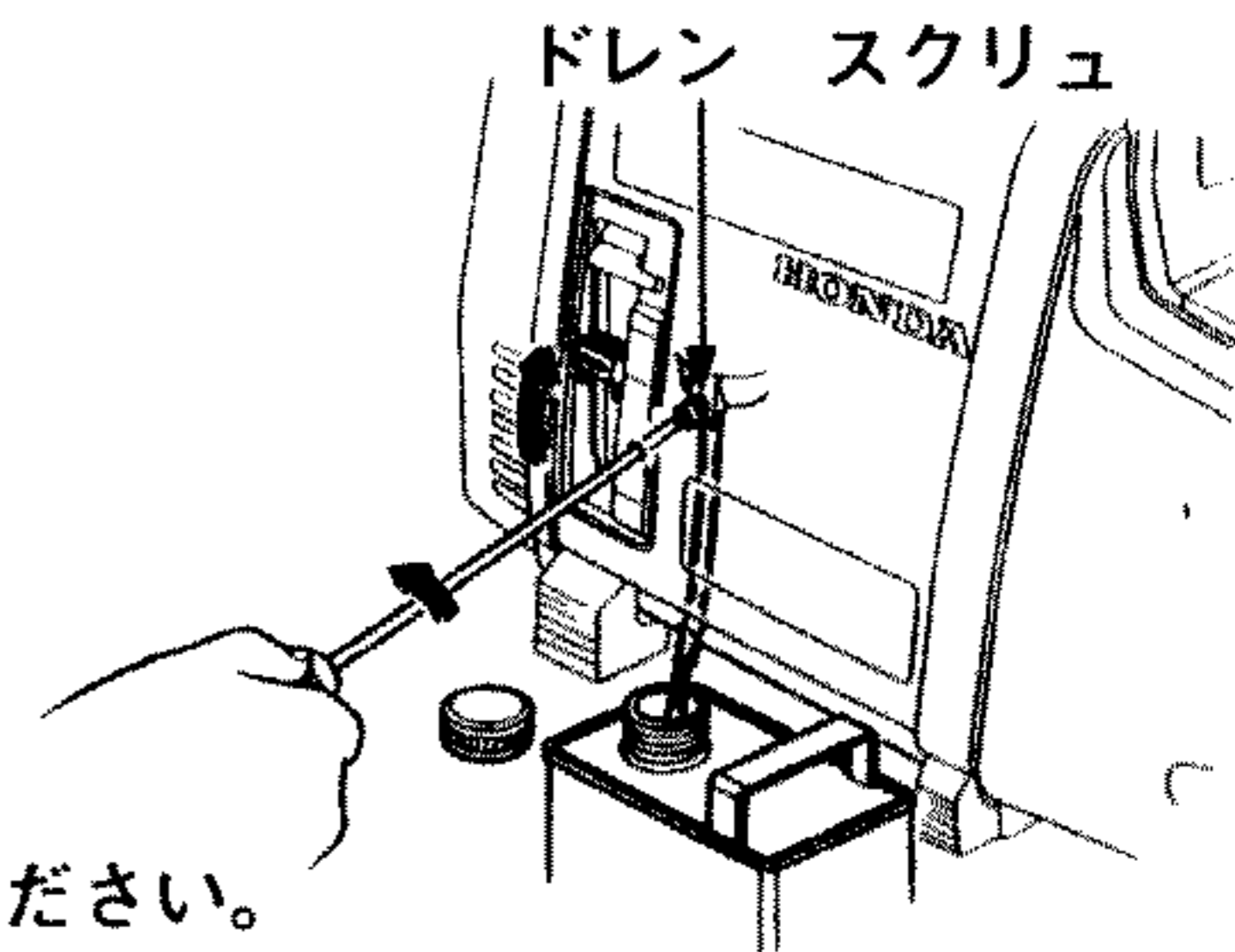
- エンジン スイッチを“**運転**”外部タンク燃料コック レバーを“ON(開)”、外部タンク キャップつまみを“ON(開)”にして気化器のドレン スクリューをゆるめ燃料を容器に受けます。完全に燃料が抜けたら、ドレン スクリューを元に戻します。
  - 燃料は自然劣化しますので必ず抜いてください。
4. エンジン スイッチを“**停止**”(外部タンク付、JHL, NHLタイプは外部タンク燃料コック レバーを“OFF(閉)”にします。)にしてタンク キャップつまみを“OFF(閉)”にします。(JHL, NHLタイプは外部タンク側も“OFF(閉)”にします。)

5. 始動グリップを引き、重くなったところで止めます。

6. 発電機にシート等をかけ風通しの良い湿気の少ない所に保管します。

注意

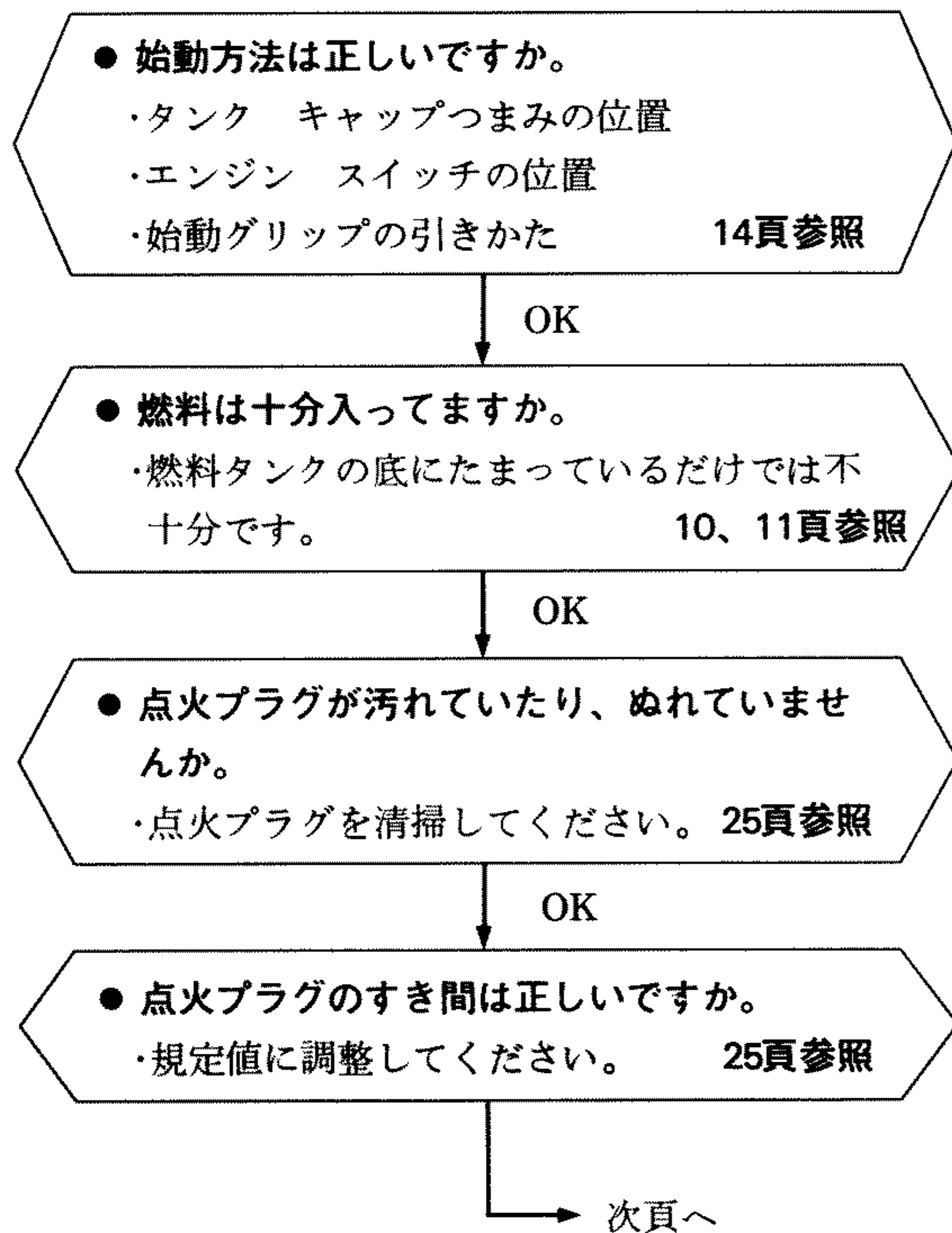
- 燃料を抜く時は火気厳禁。
- 風通しの良い場所で行ってください。
- 抜いた燃料の後始末は十分に行ってください。



## 10 修理を依頼される前の簡単な点検

まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常のあるときは、むやみに分解しないでお買いあげ販売店へお申しつけください。

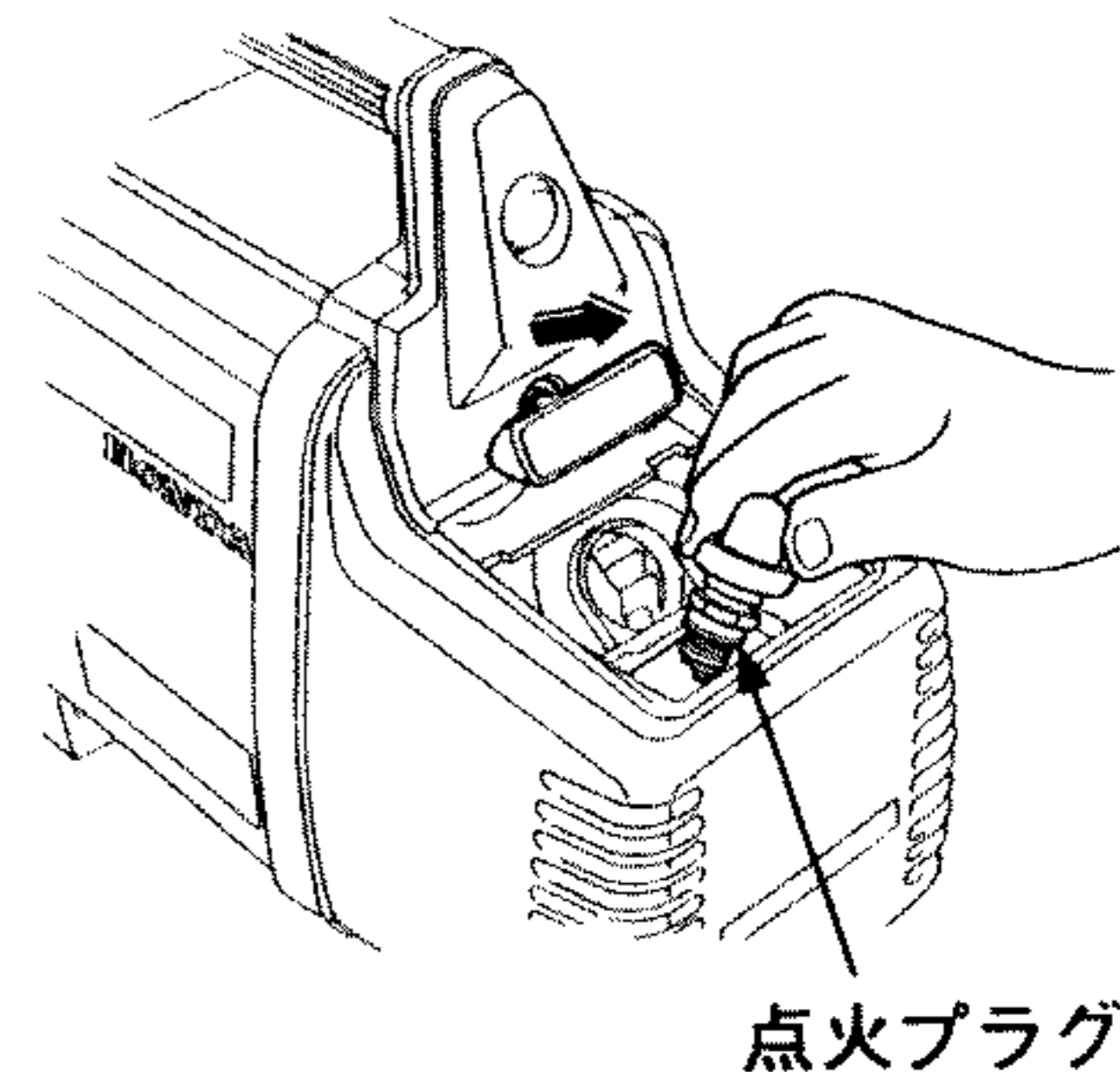
### ■エンジンが始動しないとき



### ● 点火プラグから火花が出ますか。

〈点検のしかた〉

- ①点火プラグをエンジンから取り出し、点火プラグをプラグ キャップに取り付けて、点火プラグのねじ部をエンジン本体に当てがいアース(感電を避けるためプラグ キャップ以外には触れないでください。)しておきます。
- ②エンジン スイッチを“運転”の位置にして、始動グリップを強く引き、プラグの電極に火花が出るか点検します。



### 注意

- 燃料が付着していると引火するおそれがあります。完全にふきとってから行ってください。
- この点検は風通しの良い場所でプラグ穴に点火プラグおよび顔や手を近づけないで行ってください。

火花が出ないときは、新しい点火プラグと交換するかお買いあげの販売店にご連絡ください。

### ■電気が取り出せないとき

- 過負荷警告灯(赤ランプ)が点灯していませんか、もし赤ランプが点灯している場合は、接続電気器具のプラグをコンセントから外し、器具や接続に異常がないか、電気の取出し過ぎでないかまたは排気口の金網にカーボンが堆積していないか点検し、つまっているときは23頁を参照して清掃してください。それでも赤ランプが点灯している場合は、お買いあげ販売店へお申しつけください。

# 11 主 要 諸 元

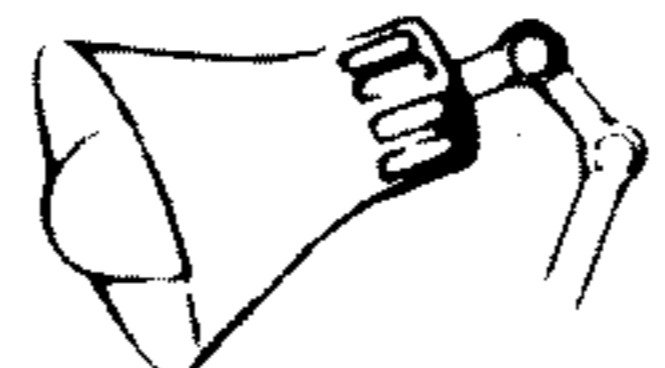
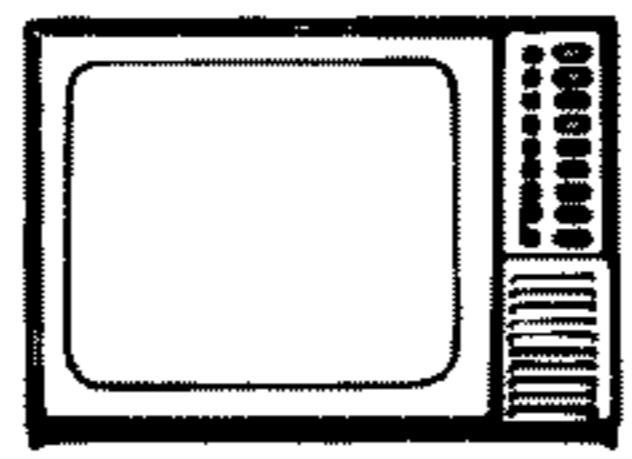
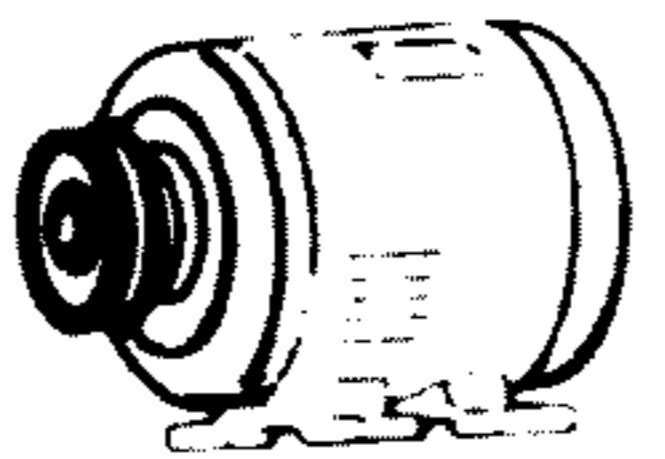
項 目	EX300JH	EX300NH	EX300JHL	EX300NHL
名 称	ホンダ発電機 E X 300			
型 式	ECC			
エ ン ジ ン 名 称	G E 35(2サイクル)			
総 排 気 量	34,4 cm <sup>3</sup>			
内 径 x 行 程	37 x 32 mm			
タ ン ク 容 量	0.81 ℓ	0.81 ℓ (外部タンク1.50 ℓ)		
始 動 方 式	リコイル スタータ			
発 電 機 型 式	多極界磁回転型			
機 体 型 式	フルカバード タイプ			
寸 法				
全 長	365 mm			
全 幅	195 mm	255 mm		
全 高	305 mm			
乾 燥 重 量	8.5 kg	10.0 kg		
出 力				
定格出力〈交流〉	150VA / 300VA			
〈直流〉	72W			
周 波 数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
電 圧 〈交流〉	100V			
〈直流〉	12V			
電 流 〈交流〉	1.5A/3.0A			
〈直流〉	6A			
電 圧 調 整	サイリスタ A、V、R方式			
出 力 端 子	交流 アース式コンセント 直流 T型コンセント			
型 式 認 可 番 号	▽96-403-	▽96-404-	▽96-403-	▽96-404-

注意：諸元は改良のため予告なく変更することがあります、ご了承下さい。

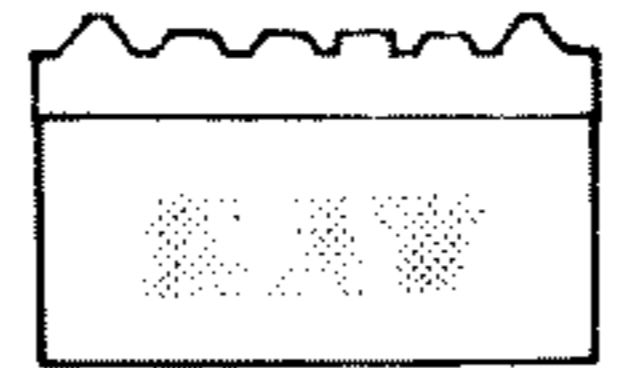
# 12 交流、直流電源の使用できる範囲

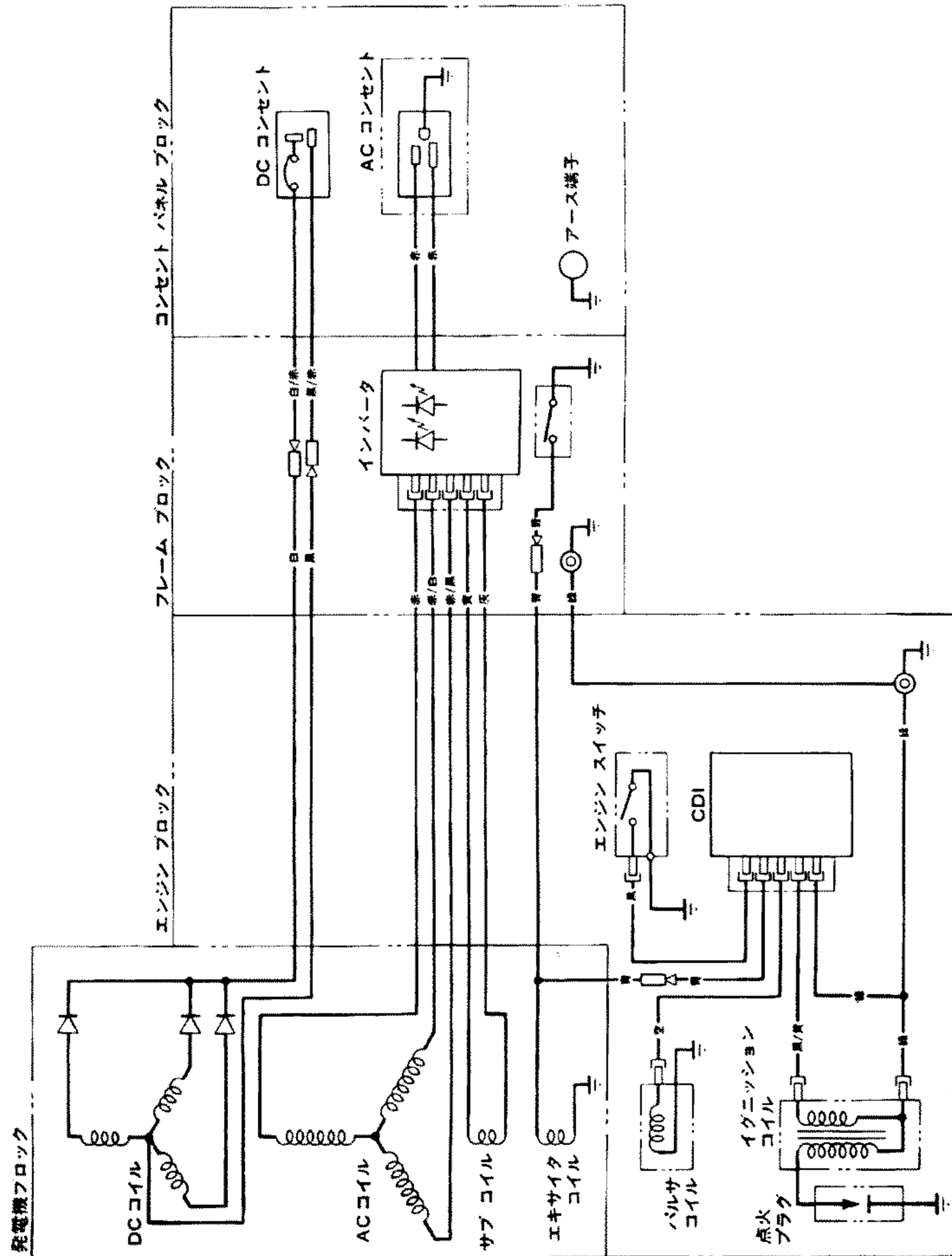
下記の範囲内でご使用ください。

## 交流

 照 明   テレビ・ラジオなど	<h1>100V—300W<sub>まで</sub></h1>
 モータ	<h1>100W<sub>まで</sub></h1> <p>〈注意〉モータは起動電流の多い製品、または種類によっても使用できない場合があります。 詳しくはお買いあげ販売店にご相談ください。</p>

## 直流

 バッテリー充電	<h1>12V—6A<sub>まで</sub></h1>
--	------------------------------



常時使用しない場合には、いつでも使えるように毎月1回試運転を行ってください。燃料は長時間放置すると自然劣化してエンジンがかかりにくくなり、また故障の原因にもなります。

試運転のしかた

1. 「運転をする前に点検しましょう」にしたがって点検します。(10頁参照)
2. 「発電機のかげかた」に従って始動します。(14頁参照)
3. 照明などの負荷をかけて10分以上運転します。
4. エンジンの調子、燃料のもれ、出力表示灯、過負荷警告灯、エンジンスイッチの作動を確認してください。

15 運搬する場合には

発電機を車輛等で運搬する場合には、次の事を必ずお守りください。

1. エンジン スイッチを“停止”にします。  
外部タンク付(JHL, NHLタイプ)は、外部タンク燃料コック レバーを“OFF(閉)”にします。
2. 燃料タンク キャップが確実に締付けられている事を確認し、タンク キャップつまみが“OFF(閉)”の位置になっていることを確認してください。  
(JHL, NHLタイプは両方のタンク キャップ、タンク キャップつまみを確認してください。)
3. 発電機が落下、転倒、破損等しないような場所を選んで収納してください。

注意

- 燃料はタンク注入口のレベル(給油限界位置)以上に入れないでください。(10~11頁参照)燃料を入れ過ぎると、運搬の途中で燃料がもれる場合があります。危険です。
- 車輛に積んだまま発電機を運転しないでください。発電機を車輛から降ろし、風通しのよい場所で使用してください。
- 車輛に発電機を積むときは直射日光の当たる場所や高温となる場所を避けてください。長時間車輛の中に放置しておくと、車輛内部が高温になり燃料が気化し引火しやすい状態になります。
- 車のトランクに発電機を積んだまま長時間悪路を走行しないでください。